

文学部

語学科目 履修案内

Language Courses Guide
2021

Faculty of Letters

外国語の履修にあたって

英 語

外国語の学習においては、言うまでもなく「読む・書く・聞く・話す」という4つの能力の向上が求められます。これらの能力が均等に向上して、初めて真の意味での外国語の習得が可能になるのです。しかし教室における授業では、週2回（合計180分）という時間の制約があり、4つの能力をまんべんなく伸ばすことは困難です。

そこで文学部の英語必修科目では、2年次以降に多くの専攻できわめて重要になる「読解力」が十分であるか否かを基準として、レベル別のクラスによる授業を展開します。またそのため英語履修者全員を対象として、「読解力」によりレベル分けをするためのプレースメントテストを実施します。入学直後には1年次のレベル分けのため、1年次学年末には2年次におけるレベル分けのためのテストを行います。

プレースメントテストの結果、専門課程において「原典講読」などの授業に必要とされる読解力をすでに持つと判定された場合は、読解以外の授業内容が多く用意されている「上級」あるいは「中級発展」を履修します。一方、読解力のさらなる強化が必要であると判定された場合は、読解に特化した授業が行われる「中級」あるいは「基礎」を履修します。

プレースメントテストで自分がどのレベルに振り分けられたかを確認し、各レベル別に用意されたクラスから2コマを履修して下さい。（ただし、「最上級（帰国生対象）」、「基礎」は例外なので注意。）

また、帰国生および海外滞在歴がある者、英語以外の外国語による受験生は、履修にあたっての特別な指示があるので、「英語特別クラスガイダンス」に必ず出席してください。

プレースメントテストで判定されたレベル別の履修上の注意

最上級（帰国生およびそれに準ずる者）

文学部設置の帰国生対象である「英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級」の201、および外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンスト英語」6コマの中から1コマの、合計2コマを履修。「英語特別クラスガイダンス」に出席し、面接を受け承認を得ることが必要です。英語の運用能力が実用上すでに十分に備わっている学生が、英語を使つての様々なコミュニケーション能力をさらに高めることを目的にしています。

上 級（帰国生以外）

文学部が設置する「英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級」の6コマ（191～196）の中から、2コマを履修。読解力はすでに十分である学生が、読解以外の発信型の英語能力を養成することを目的にしています。

中級発展

「中級発展」のクラスから2コマを履修。

「中級発展」には、主にネイティブスピーカーによる発信型のクラスと、主に日本人教員によるリーディング中心のクラスが用意されています。バランスのとれた英語力を養成することを目標にしています。

中 級

「中級」のクラスから2コマを履修。

「中級」に設置されているクラスはいずれも、2年次以降の専門課程において必要とされる英語読解力を養成することに主眼を置いています。

基 礎

「基礎」と「中級」のクラスを、それぞれ1コマずつ履修。

対象者は、「基礎」のクラスを1コマ「指定」されます。もう1コマは、本冊子3ページの担当者名に“*”のついている「中級」のクラスから各自1コマを選択し履修してください。

各レベルのWebエントリー上の注意

最上級 (帰国生およびそれに準ずる者)

プレイスメントテストで「上級」判定を受け、さらに「英語特別クラスガイダンス」にて面接の上、許可を得た者のみが対象。下記のいずれかの方法で履修の手続きをすること。

- ・文学部設置の1コマ(帰国生を対象とする「英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級(201)」が履修可能な場合：文学部でのWebエントリーは不要。もう1コマは外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンスト英語」6コマの中から1コマを履修する。これは同センターにて別途手続きすること。
- ・文学部設置の「英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級(201)」が履修できない場合：文学部でのWebエントリーは不要。外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンス英語」6コマの中から2コマを履修。同センターにて別途手続きすること。

上 級 (帰国生以外)

文学部設置の「英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級」の6コマ(191～196)の中から、履修したいクラスを第6希望まで選び、Webエントリーを行う。

中級発展

「中級発展」のカテゴリーのクラス(161～183)から、第8希望までを選び、Webエントリーを行う。

中 級

「中級」のカテゴリーのクラス(114～160)から、第8希望までを選び、Webエントリーを行う。

基 礎

「基礎」のクラスは「指定」されているのでWebエントリーは不要。もう1コマは、本冊子3ページの「中級」のカテゴリーのクラス(114～160)のうちで担当者名に“*”のついているクラスから、履修したいクラスを第8希望までを選び、Webエントリーを行う。中級と基礎のクラスの教員が重複しないように選択してください。

全レベル共通：履修までの手続き

- 1) 3月31日(水)の英語プレイスメントテストを受ける。
 - ・現時点での英語読解力を測るテストです。このテストの結果に基づきレベル判定が行われます。
 - ・試験はオンラインで実施します。パソコン(推奨)、タブレット端末、スマートフォン、iPhoneで受験可能です。試験実施方法、受験方法についての詳細は、「新入生お知らせシステム」または「keio.jpポータル」で通知します。
 - ・テストの受験に先立ち、3月29日(月)15:00までにkeio.jpの登録(入学手続き完了者への配布物同封の「クラス・学籍番号・履修語学等の発表について」を参照)をし、3月29日(月)に下記の「新入生お知らせシステム」で自分の学籍番号(8桁)と組を必ず確認してください。

クラス発表：「新入生お知らせシステム」 <https://fresh.keio.jp/>

- 2) 4月1日(木)の「レベル分け」発表で各自のレベルを確認し、ウェブ版「英語科目履修ガイド」(3月下旬公開予定)を熟読の上、語学科目履修案内の「英語Ⅰ／英語Ⅱ」の中から、上記の注意に従い履修したいクラスを選択する。

レベル発表：<http://keio.jp> (keio.jpポータル「News」欄) 4月1日(木) 9:00以降準備でき次第公開

- 3) keio.jp内「Webエントリーシステム」より、希望する講座のエントリー登録を行う(4月2日(金)14:00締切)。

※詳細は、ウェブ版「英語科目履修ガイド」および「必修語学科目履修要領(英語)」で確認してください。

- 4) コンピュータ処理による抽選により希望クラスの調整が行われ、その結果は4月4日(日)9:00(予定)に発表される。「最上級」以外の者は、発表されたクラスの履修申告は不要。

クラス発表：<http://keio.jp/> (keio.jpポータル「News」欄) 4月4日(日) 10:00以降準備でき次第公開

5) 「英語Ⅰ／英語Ⅱ」講座番号表

『各レベルのWebエントリー上の注意』の指示に従い、下記の表を参考に講座番号を選んでください。

【英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
114	木 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	井口 篤*
115	木 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	宇沢 美子*
116	火 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	江崎 麻里
117	火 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	大島 範子
118	火 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	大島 範子
119	火 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小川 真理
120	火 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小川 真理
121	水 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	加藤 彩雪
122	月 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	加藤 有佳織*
123	月 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	熊代 文子
124	月 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	熊代 文子
125	火 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	倉科 真季
126	月 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小泉 有加
127	月 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小泉 有加
128	水 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小泉 由美子
129	水 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小竹 直
130	火 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	近藤 真彫
131	火 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	近藤 真彫
132	木 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	坂本 光*
133	火 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	佐藤 健
134	金 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	沢村 静
135	金 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	沢村 静
136	月 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	高橋 宣也*
137	木 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	高橋 宣也*
138	月 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	高橋 三和子
139	月 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	高橋 三和子
140	火 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	田辺 寛
141	火 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	田辺 寛
142	月 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	辻 秀雄*
143	月 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	辻 秀雄*
144	月 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	津田 敦子
145	水 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	徳永 聡子*
146	水 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	徳永 聡子*
147	木 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	徳永 聡子*
148	木 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	冨塚 亮平
149	金 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	中村 哲子
150	火 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	新名 ますみ
151	火 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	沼田 香穂里
152	火 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	沼田 香穂里
153	月 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	辺見 葉子*
154	水 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	堀 美里
155	水 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	堀 美里
156	金 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	溝部 敦子
157	金 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	溝部 敦子
158	金 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	若澤 佑典*
159	木 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	和氣 直子
160	木 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	和氣 直子

【英語Ⅰ基礎/英語Ⅱ基礎】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
111	月 1	英語Ⅰ基礎／英語Ⅱ基礎	加藤 有佳織
112	金 5	英語Ⅰ基礎／英語Ⅱ基礎	辻 秀雄
113	木 1	英語Ⅰ基礎／英語Ⅱ基礎	徳永 聡子

【英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
161	火 1	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	井口 篤
162	木 5	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	宇沢 美子
163	火 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	江崎 麻里
164	水 1	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	加藤 彩雪
165	火 4	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	倉科 真季
166	水 4	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	小泉 由美子
167	水 5	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	小竹 直
168	木 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	坂本 光
169	火 3	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	高橋 宣也
170	木 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	高橋 宣也
171	火 1	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	チータム, ドミニク
172	火 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	チータム, ドミニク
173	金 4	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	辻 秀雄
174	月 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	津田 敦子
175	木 5	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	徳永 聡子
176	火 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	新名 ますみ
177	月 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	ピアソン・ウメヅ, ナンシー E.
178	木 1	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	ピアソン・ウメヅ, ナンシー E.
179	月 4	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	辺見 葉子
180	木 4	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	辺見 葉子
181	月 1	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	ボーク, ギャリー
182	月 3	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	ヤング, ジェローム
183	金 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	若澤 佑典

【英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
191	木 2	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	コミサロフ, アダム
192	木 4	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	コミサロフ, アダム
193	月 3	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	タイ, ワンチェン
194	火 1	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	バナード, ピーター
195	月 1	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	ピアソン・ウメヅ, ナンシー E.
196	月 2	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	ボーク, ギャリー

【英語Ⅰ最上級/英語Ⅱ最上級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
201	月 2	英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級	タイ, ワンチェン

英語Ⅰ／英語Ⅱ 講義要綱

【基礎】

英語Ⅰ基礎 1単位(春学期)

英語Ⅱ基礎 1単位(秋学期)

英語文法・構文の復習

講座番号: 111

セット履修

加藤 有佳織

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト (60%)、平常点 (予習・復習・課題、40%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

1) 『読解力につなげるコア英文法』(朝日出版社、ISBN: 978-4-255-15638-5)

<https://text.asahipress.com/english/detail.php?id=1588>

2) 『システム英単語〈5訂版〉』(駿台文庫、ISBN: 978-4-7961-1141-6)

<https://www.sundaibunko.jp/contents/book/5024/>

生協で購入してください。他に補足用のプリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習・復習に取り組んでください。

質問・相談:

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

英語Ⅰ基礎 1単位(春学期)

英語Ⅱ基礎 1単位(秋学期)

英語文法・構文の復習

講座番号: 112

セット履修

辻 秀雄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト (60%)、平常点 (授業態度・予習・復習・出席、40%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

1) 『読解力につなげるコア英文法』(朝日出版社、ISBN: 978-4-255-15638-5)

<https://text.asahipress.com/english/detail.php?id=1588>

2) 『システム英単語〈5訂版〉』(駿台文庫、ISBN: 978-4-7961-1141-6)

<https://www.sundaibunko.jp/contents/book/5024/>

生協で購入してください。他に補足用のプリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習・復習にとりくんでください。

質問・相談:

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

英語Ⅰ基礎 1単位(春学期)

英語Ⅱ基礎 1単位(秋学期)

英語文法・構文の復習

講座番号: 113

セット履修

徳永 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト (60%)、平常点 (授業態度・予習・復習・出席、40%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

1) 『読解力につなげるコア英文法』(朝日出版社、ISBN: 978-4-255-15638-5)

<https://text.asahipress.com/english/detail.php?id=1588>

2) 『システム英単語〈5訂版〉』(駿台文庫、ISBN: 978-4-7961-1141-6)

<https://www.sundaibunko.jp/contents/book/5024/>

生協で購入してください。他に補足用のプリントを配布します。

参考書:

必要な段階で必要なものを教示します。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習・復習にとりくんでください。

質問・相談:

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

【中級】

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

The Witch Hunt in Early Modern England: Reading “The Familiars” by Stacey Halls

講座番号: 114

セット履修

井口 篤

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this course, we will be reading Stacey Halls' *The Familiars*, a novel set in early-seventeenth-century Lancashire. The protagonist Fleetwood Shuttleworth, seventeen-year-old wife of Richard, lord of Gawthorpe Hall, had already miscarried twice when she encounters Alice Gray, a local village girl who seems to possess abundant knowledge of medicinal herbs that ease childbirth. Just when Fleetwood's third pregnancy starts to be assisted by Alice's expertise, however, the story takes an unexpected turn...

We will read one chapter each week, thereby finishing half of the novel in Spring Term, and aiming to reach the end by the end of Autumn Term. We won't be translating every page, but closely reading those passages that the lecturer deemed particularly important in each chapter. The other passages we cannot focus on during the class will be summarised and explained.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Assessment will be made based on attendance (20%), participation (20%), and end-of-term exam (60%).

テキスト(教科書):

Stacey Halls, *The Familiars* (Mira Books, 2019) [ISBN: 978-0778309017]

担当教員から履修者へのコメント:

Anyone who's interested in early modern England or reading a historical novel will be welcome. Doing the homework beforehand is of vital

importance. The end-of-term exam papers will be returned to each student with comments.

質問・相談:

Questions will be taken before, during, and after the class, in person and by email.

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

サマーセット・モームの短編小説を読む

講座番号: 115

セット履修

宇沢 美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

オンライン・オンディマンド併用の 中級レベルの読解力養成のコースです。このクラスでは英国人作家サマーセット・モームの短編をとりあげます。モームは飾らない文体、コスモポリタンな舞台設定、そして人間の本质に迫る鋭い感性の作家です。作品の精読を通じて基礎的な読解力を養成しながら、この作家の人間洞察について、作品の内容と表現の双方から探っていきます。映像と小説の比較もしたいです。出欠確認は毎週の課題提出でとります。毎回の授業資料はkeio.jpを通して配布されます。課題提出方法などはkeio.jpからの指示にしたがってください。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- ・試験による評価(50%)
 - ・平常点: 出席状況および課題等による評価 (50%)
- により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

Somerset Maugham (2001) *Collected Short Stories, Volume 1 (Maugham Short Stories)*. Vintage Classics. ISBN-13: 978-0099287391

担当教員から履修者へのコメント:

隔週でZoomを用いてオンライン授業を行います。課題はkeio.jpを通して授業資料と共に毎週配布されます。

また、毎週提出される課題はクラス全体に対して、コメント付きで公開される可能性があります。

第1週はZoomにて授業を行います。詳しいZoom情報はkeio.jpで通知します。

質問・相談:

email で随時受け付けています。uzawa@keio.jp

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

名画を彩る食文化

講座番号: 116

セット履修

江崎 麻里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は英語史を概観したのち、秋学期は、食べ物や食事の情景を描いた 14 の名画を通し、画家の人生や食文化を探ります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- 日常点(出席点・課題・発言) 60%
- 春学期・秋学期試験 40%

テキスト(教科書):

1. 『BBC: 英語ものがたり』 朝日出版社 2014年 ISBN: 978-4-255-15296-7

2. 『絵画を彩る食文化』 朝日出版社 2020年 ISBN: 978-4-255-15644-6

参考書:

授業中に随時、紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

遅刻厳禁。辞書必携。

地道に積み重ねていくことが好きな人に適した授業です。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Virginia Woolf の "A Room of One's Own" を精読する

講座番号: 117

セット履修

大島 範子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、イギリスの小説家Virginia Woolfによる、女性がフィクションを書くということについて英文学の歴史を振り返りながら考えるエッセイ、“A Room of One's Own” (1929) (邦題:『自分だけの部屋』) を精読します。英語のエッセイを、文法的な正確さを保ちながら、同時に、比喩を理解し、楽しみ、さらに内容について考えつつ読むための力を養うことを目的とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業態度50%、学期末の試験50%で評価します。

欠席は三回までです。四回以上欠席した場合は評価の対象としません。

テキスト(教科書):

Woolf, Virginia. *A Room of One's Own and Three Guineas*. Oxford UP, 2015.

参考書:

必要な場合は適宜配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

・履修者の皆さんには、毎回、順番に日本語で本文の和訳をしていただきますので、しっかりと予習をしていただくことが前提の授業になります。最初は緩やかなペースで初めて、慣れてきたら少しずつ一回に読むペースを増やしていきましょう。

・授業については、原則として、最初の六回をオンラインで、後半の七回を対面授業で行う予定です。これについては、社会的情勢によってはもしかすると変更があるかもしれません。

質問・相談:

初回授業でお教えするメールアドレスで受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Anna Kavan の *Asylum Piece* を精読する

講座番号: 118

セット履修

大島 範子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、イギリスの小説家Anna Kavanの、精神疾患やサナトリウムでの生活を患者の視点から描くことをテーマとした短編集 *Asylum Piece* (1940) (邦題:『アサイラム・ピース』) から、いくつかの短編を取り上げて精読します。文法的な正確さを保ちながら同時に、小説を、情景を想像し、楽しみ、さらに内容について考察しつつ読めるようになることを目的とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業態度50%、学期末の課題50%で評価します。

欠席は三回までです。四回以上欠席した場合は評価の対象としません。

テキスト(教科書):

Kavan, Anna. (2001). *Asylum Piece*. Peter Owen. ISBN: 978-0720611236

参考書:

必要な場合は適宜配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

・履修者の皆さんには、毎回、順番に本文の和訳をしていただきますので、しっかりと予習をしていただくことが前提の授業になります。また、内容についてのディスカッションでは皆さんに発言を求めます。最初は緩やかなペースで初めて、慣れてきたら少しずつ一回に読むペースを増やしていきましょう。

・授業については、原則として、春学期・秋学期とも、最初の六回をオンラインで、後半の七回を対面授業で行う予定です。これについては、社会的情勢によってはもしかすると変更があるかもしれません。

質問・相談:

授業時にお知らせするメールアドレスで受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)	
英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)	
Reading for academic success	
講座番号: 119	
セット履修	小川 真理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:
 多様なトピックを扱った、CEFR B2～C1レベルのリーディング教材を読みます。平易ながら自然な英語の文章の読解に慣れると同時に、教科書で取り上げられているテーマに関する知識・意識を高めます。難解でなければ生の英語を自由に読めるようになることを目標とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (授業準備を済ませて授業に参加し、提出物を出すこと) 45%

各学期末課題 55%

やむを得ない事情を除き、各学期5回以上の欠席は単位取得が認められません。

テキスト(教科書):

Paul MacIntyre and David Bohlke. (2020). *Reading Explorer 4 Third Edition*. Cengage. ISBN: 978-0-357-12473-4

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)	
英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)	
Critical Thinking	
講座番号: 120	
セット履修	小川 真理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:
 CEFR B1-B2レベルですが中上級のリーディング教材を読みます。さまざまな題材について自然な英文で読むことを通じて、傾出構文や表現に慣れ、語彙を増強します。また、教科書の内容について考えを深めます。難解に過ぎなければ洋書などを読めるようになることを目標とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (授業準備を済ませて授業に参加し、提出物を出すこと) 45%

各学期末課題 55%

やむを得ない事情を除き、各学期5回以上の欠席は単位取得が認められません。

テキスト(教科書):

Andrew K. English and Laura Monahan English. (2020). *NorthStar Reading & Writing Fifth Edition (Level 4)*. Pearson. ISBN: 978-0-13-523264-4

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)	
英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)	
イギリスの短編小説で学ぶ英語	
講座番号: 121	
セット履修	加藤 彩雪

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:
 春学期は、「奇妙な味」と評されるロアルド・ダールの短編小説を取り上げます。日常会話の中に隠された人間の狂気や幻想、そして複雑な心の機微を感じ取りながら、ミステリーやサスペンスの奥深さを味わいます。秋学期は、20世紀初頭にイギリスで書かれた短編作品を取り上げます。具体的には、D. H. ロレンスやキャサリン・マンスフィールドの短編を扱います。個人と社会、自然と近代化、階級と労働といった問題を考えることで20世紀初頭のイギリス社会への理解を深めます。

授業では、演習形式でゆっくりと丁寧にテキストを読んでいきます。そして、基本的な文法事項、段落の構造、時代背景を確認していきます。また、読後感を語り合うことで、自分の意見を発信するだけでなく、クラスメイトの意見を聞く作法も身につけます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点やレポートを総合的にみて評価します。

テキスト(教科書):

プリント配布 (keio.jp にアップしますので、各自プリントアウトしたものを授業に持参してください)

参考書:

授業にて適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

該当箇所の予習をして授業にを受けてください。

質問・相談:

質問・相談は授業終了後または、メールにて受けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)	
英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)	
英語文芸誌を読む	
講座番号: 122	
セット履修	加藤 有佳織

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

読解力を養うとともに、英文要約やディスカッションを実践的に学びます。各回ははじめの30分間で、おもにTOEFLやIELTSに即した読解問題を使って速読練習を行ない、早く正確に要点を捉える力をみがきます。速読練習については予習は不要ですが、各自で未習語彙や文法事項を復習するとともに、次回授業までに英文要約を提出します。授業時にはそれらを共有し検討しながら、文章を正しく理解し、適切にまとめる力を養います。また、復習の目安となるよう定期的な単語クイズを行います。次に、英語圏文芸誌 *Granta*、*The Walrus Magazine*、*McSweeney's* などに掲載された短篇について読解クイズやディスカッションを行い、作品を丁寧に読み、関連事項を調べて批評的に考え、作品について意見を交換する作法やコツを習得します。掲載作品それぞれを精読するだけでなく、多彩な現代英語圏文学の一端をのぞき、各誌を比較するよい機会にもなるでしょう。履修者のみなさんには、継続的に課題に取り組むこと、各作品について読解クイズを活用して予習すること、授業へ積極的に参加することがもめられます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

速読 (15%)、要約 (15%)、読解クイズ (30%)、授業参加・ディスカッション (20%)、期末レポート (20%) による総合評価とします。それぞれ60%以上を満たすことが前提です。

テキスト(教科書):

資料は keio.jp 上で配布します。

各誌ウェブサイトもご覧ください。

Granta: <http://www.granta.com>

The Walrus Magazine: <http://thewalrus.ca/>

McSweeney's: <http://www.mcsweeney.net/books>

質問・相談:

メールにてお受けします。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)	
英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)	
ニュースを見る、読む	
講座番号: 123	
セット履修	熊代 文子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英字新聞を編集したテキストを読む、リーディングを核とする授業ですが、短い英語ニュースの映像も並行して見ていきます。

リーディングの教材として、*Trends in Transition ニューヨークタイムズで時代を読む*を使用します。また、英語ニュースの教材として、*CBS News Break 4*と補助教材(プリントとして適宜配布)を使用します。

授業時間内に、辞書を使いながら、自分の力で題材を理解することが要求されます。基本的に毎回、リーディングと英語ニュースのいずれかまたは両方に関して、課題が出されます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席点及び課題40%、授業内小テスト10%、学期末試験50%の配分で算出した総合点に基づいて決定します。ただし、授業態度に著しく問題があると認められる場合は、総合点の如何に関わらず単位は取得できません。

テキスト(教科書):

- Rume Kita & Keith Wesley Adams. (2011). *Trends in Transition* ニューヨークタイムズで時代を読む. 英宝社.
 - Nobuhiro Kumai & Stephen Timson. (2019). *CBS News Break 4*. 成美堂.
- 担当教員から履修者へのコメント:
毎回、教科書と英和辞書を持参して下さい。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

ニュースを見る、読む

講座番号: 124

セット履修

熊代 文子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英字新聞を編集したテキストを読む、リーディングを核とする授業ですが、短い英語ニュースの映像も並行して見ていきます。

リーディングの教材として、*Change and Conflict* ニューヨークタイムズの窓からを使用します。また、英語ニュースの教材として、*CBS News Break 5*と補助教材(プリントとして適宜配布)を使用します。

授業時間内に、辞書を使いながら、自分の力で題材を理解することが要求されます。基本的に毎回、リーディングと英語ニュースのいずれかまたは両方に関して、課題が出されます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席点及び課題40%、授業内小テスト10%、学期末試験50%の配分で算出した総合点に基づいて決定します。ただし、授業態度に著しく問題があると認められる場合は、総合点の如何に関わらず単位は取得できません。

テキスト(教科書):

- Rume Kita & Keith Wesley Adams. (2014). *Change and Conflict* ニューヨークタイムズの窓から. 英宝社.
 - Nobuhiro Kumai & Stephen Timson. (2021). *CBS News Break 5*. 成美堂.
- 担当教員から履修者へのコメント:
毎回、教科書と英和辞書を持参して下さい。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

難解な文章の精読に挑戦する

講座番号: 125

セット履修

倉科 真季

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

【この授業は、グループワークの機会を多く設けるため、教室での密集状態を避ける目的で、基本的にZoomを用いたライブ配信にて実施予定です。履修者の皆さんには、火曜5限の時間帯にZoomを開始できるよう準備しておくことを求めます。インターネット環境等の都合で、この日時にやむを得ず参加ができない事態になった場合は、必ず授業終了後に配信されるオンデマンド動画で授業内容を確認してください。】

この授業では、主に教科書の文章の精読を通して英語のリーディング能力の向上を目指します。毎回の授業で扱う英文は、様々な小説・エッセイ・論文からの抜粋です。講読する一回あたりの文章はそれほど長いものではありませんが、それぞれきちんと文法や個々の単語の意味を確認しなければ読み解けない内容となっているので、一文ずつ英語を分析するつもりでじっくりと精読を行います。また、教科書では基本的に各々の作品の一部分を読解することになるため、特に文学作品を扱う場合などは作品全体への理解も深めてもらえるよう、補足の資料や映画等をその都度用いていくつもりです。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (40%) + 期末試験 (40%) + 期末課題 (20%) で総合的に判断します。

テキスト(教科書):

葉袋善郎編著『名文で養う英語精読力』(研究社、2009年) ISBN: 978-4-327-42179-3

参考書:

授業内でその都度紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業では、グループワークを行いながら本文の内容理解を深めていきます。毎回授業までにきちんと指定された範囲の精読を行って授業に臨むことが基本と考えてください。

個々の文章の意味を理解するだけではなく、文章の前後関係を把握し行間を読むレベルにまで到達できるように心がけて授業を行うので、履修者の皆さんもそのつもりで学習を進めてもらえたらと思います。

質問・相談:

授業内や授業後のほか、初回にお知らせする連絡先にて受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Reading Fairy Tales

講座番号: 126

セット履修

小泉 有加

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

よく知られたfairy taleを題材に、その歴史的背景に関する論考や、後世の作家による再話などを取り上げます。様々な時代に作られたfairy taleを比較することで、それぞれの時代の特徴や作家の関心事が浮き彫りになります。授業では、テキストを受動的に読む作業だけでなく、異なる時代に書かれたfairy taleの違いが映し出すものは何かということを自発的また批判的に思考し、アウトプットすることが求められます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (予習や授業への取り組み)、課題の提出、期末試験の総合点で評価します。

テキスト(教科書):

keio.jpで配布します。各自でダウンロードしてください。

参考書:

Oshima, Alice, and Ann Hogue. (2006). *Writing Academic English*. 4th edition. Pearson Longman. ISBN: 978-0-13-152359-3

担当教員から履修者へのコメント:

オンデマンド形式では、課題に真面目に取り組み期日までに提出すること、対面授業の際は、予習をすること、積極的に発言・参加することが求められます。

質問・相談:

授業の前後やメールで受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Building Academic Skills in English

講座番号: 127

セット履修

小泉 有加

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、各学期に2~3のテーマを取り上げ、テーマに関連した学術書や新聞記事の読解を行います。授業ではグループディスカッション、リスニング、ライティングの機会を設け、読解力向上に基軸を置きつつ、英語でのアカデミック・スキルを得ることを目標とします。

春学期はlinguisticsとpolitical science、秋学期はliteratureとgenderに関する文献を取り上げる予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (予習や授業への取り組み)、課題の提出 (リスニング、ライティングなど)、期末試験の総合点で評価します。

テキスト(教科書):

keio.jpで配布します。各自でダウンロードしてください。

担当教員から履修者へのコメント:

オンデマンド形式では、課題に真面目に取り組み期日までに提出すること、対面授業の際は積極的な発言・参加が求められます。

質問・相談:

授業の前後やメールで受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

エッセイ集『なおも奇妙な岸边』を読む

講座番号: 128

セット履修

小泉 由美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、J・M・クッツェー (1940-) のエッセイ集『なおも奇妙な岸边』(2001年)を読み進めます。クッツェーはケープタウン生まれの小説家。読むこと、書くこと、訳すことに対する彼の思索とそこに孕まれる奇妙な違和感のうつろいをゆっくり丁寧に辿りながら、主題および英文構造の精緻な把握と理解を磨いていきます。毎回、5ページ程度の予習、課題提出 (和訳)、および学期末レポートの作成がもとめられます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (予習・出席)、課題 (和訳・学期末レポート) の総合点で判断します。

テキスト(教科書):

J.M. Coetzee, *Stranger Shores: Essays 1986-1999* (2001; Vintage, 2002)

質問・相談:

随時、受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

英語の過去・現在・未来について考える

講座番号: 129

セット履修

小竹 直

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

オクスフォード大学出版より刊行されている Very Short Introductions シリーズより、英語の成り立ちや世界中で話される英語の多様性、さらには英語の未来について検討した Simon Horobin, *The English Language: A Very Short Introduction* (2018) をテキストに、精読と速読のバランスをとりながら読み進めて行くことを目標とします。また、上記書籍の出版に合わせて行われた著者による講演が公開されているので、少しずつディクテーション (聞き落とし) をしながら聞き進めることで、リスニング力を鍛えながら、内容理解も深めていきます。

ひとつの言語の歴史は単純に言語学的な側面から分析できるものではなく、その言葉話す人々の歴史と切り離すことはできません。またその言葉の変遷を検討するには、その言葉で書かれた書物や史的資料を綿密に検討する必要があります。さらに、ヨーロッパの片隅に浮かぶ島国の言語であった英語が、世界的に用いられるようになり、インターネットなどの新しいメディアを通じてさらにその役割を広げていく中で、その言葉はさらに変遷を遂げていきます。本講義では、言語だけでなく西洋史、書物史、文化史といった複合的な視野を持ちながら、教科書を深くじっくり読むことを目標とします。

(授業形式について)

コロナウィルスの影響で昨年度の授業はオンラインになりました。今年度も社会情勢を注視しつつ大学からの指示に従い、受講者の安全を最優先に授業を進めていきます。現時点でこの授業はオンラインでの開講予定です。基本的な形式はオンデマンド式として、補助的に Zoom を用いたリアルタイムの Q&A セッションなど行う予定です。不安もあるかと思いますが、初回の授業で丁寧に説明し、メールでのサポートも徹底していきます。講読の授業はオンデマンド式との相性が良くない部分も確かにありますが、さまざまな映像・音声資料を取り入れながら、単なる「対面授業の代用」としてのオンライン授業ではなく、オンライン・オンデマンドならではの利点を活かしながら、受講者が知的好奇心をもって授業に挑めるように工夫していきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末課題 (レポート) (60%)、平常点 [出席、予習・授業中の学習状況] (40%) オンライン授業での出席確認は課題提出などを利用して行います。

テキスト(教科書):

Simon Horobin, *The English Language: A Very Short Introduction* (Oxford, 2018) ISBN: 9780198709251

参考書:

授業内で適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

辞書 (電子辞書も歓迎) を活用してください。予習・復習は必須です。将来的に英語学・言語学を学ぼうとする学生のみならず、授業内容に挙げたような関連領域に興味を持つ学生の参加を期待しますが、予備知識は必要ありません。積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

質問・相談:

相談・質問は基本的にメールでいつでも受け付けています (アドレスは初回授業時に通知します)。授業時間に合わせて、補助的な Q&A セッションを Zoom で行うこともあります。臨機応変に対応していきますので、心配なことがあったらいつでも相談してください。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

英米のミュージアム

講座番号: 130

セット履修

近藤 真彰

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現在、内外の美術館や博物館のほとんどがウェブサイトを作成していて、所蔵品の豊富な画像と共に詳細な時代背景などの専門性の高い情報を提供しています。本授業では、英米の美術館や博物館のウェブサイト上にある多彩な情報を取り上げて、英米におけるミュージアムの成り立ち、美術や歴史、博物館学について理解を深めながら英文読解力の向上を目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

学期末試験の成績 (40%) と平常点 (予習、課題など 60%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

授業でプリントを配布し、また、適宜参考にするウェブサイトを紹介いたします。

担当教員から履修者へのコメント:

インターネットを通じて海外の情報を手軽に入手できる時代だからこそ、正しい情報の取り扱いと英語読解力が大切です。授業では主にウェブサイト上のテキストの読解を行います。辞書にある意味をただ拾うだけではなく、言葉の背景にある文化や歴史に興味を持って積極的に参加してください。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

美術を読む

講座番号: 131

セット履修

近藤 真彰

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

事典の項目や新聞のレビュー記事、学術書や論文など、美術について書かれた様々なテキストを読んでいきます。内容は主に欧米の美術作品 (視覚的イメージ) や文化史に関わるもので、こうした分野の専門用語の理解も含めた英文読解力の向上を目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

学期末試験の成績 (40%) と平常点 (予習、課題など 60%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

授業でプリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

テキストの内容に関わる英文文法練習なども行いますが、基本的に英文和訳の授業です。専門性の高いものも取り上げるので、辞書で調べた訳語を並べただけでは理解しづらい場合もあるかもしれませんが、同じ分野のテキスト読解を続けることで確実に読み易くなってきます。美術や歴史に興味のある学生の積極的な参加を期待します。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

精読入門－説論文を読む

講座番号: 132

セット履修

坂本 光

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

主に説論文をテキストとし、効率よく正確に英文を理解するためのトレーニングを行います。

外国語であれ母語であれ、正確な読解には、十分な語彙と構文の認識、そしてコンテキストの理解が重要です。この授業では、特に構文とコンテキストへの感覚を、バランスをとりながら磨いてゆくことを目標とします。

【授業形態に関する注意事項】

- この授業は教室で対面にて行います。
- ただし新型コロナウイルスの感染状況が悪化した場合は、オンライン形式に移行します。移行する場合にリアルタイム形式とするか、オンデマンド形式とするかは未定です。
- オンライン形式へ移行するかどうか、また移行する場合のタイミングは、原則として日吉キャンパス全体の判断に従います。
- **新型コロナウイルスへの感染リスクの高さが理由である場合のみ**、対面授業へのオンラインでの参加を認めます。
- オンライン履修を希望する場合は、第一回授業までに hikaru.sakamoto@keio.jp へ希望理由を詳しく具体的に知らせ、許可を得てください。許可を得ずにオンライン中継に参加しても、出席とはみなしません。
- オンライン履修は、教室での授業を Zoom 等を用いてリアルタイム中継することです。教室での授業と100%同じ体験を提供することはできないことを了解してください。
- オンライン履修者も、小テストや期末テストを教室で受験できます。教室での受験が不可能な場合は、教室での受験者とは異なる成績評価方法を適用します。(2020年度のやり方から変更し、新たな方法を採用する予定です。)
- 教室で受講している学生も、新型コロナウイルス感染リスクの変化等の理由がある場合、学期途中でオンライン履修へと変更できます。その場合は、できるだけ早い段階で具体的な希望理由を知らせ、私から許可を得てください。許可を得ずにオンライン中継に参加しても、出席とはみなしません。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- ▶ 成績評価は「春学期平常点」25%、「春学期中間・期末試験」25%、「秋学期平常点」25%、「秋学期中間・期末試験」25%の比重で算出します。
- ▶ 各学期「平常点」は、予習の成果、授業参加の積極性や小テスト等から算出します。
- ▶ 通年欠席6回で不合格、遅刻は欠席0.5回分として計算します。学則通り、サークル活動等による公欠は認めません

テキスト(教科書):

テキストは Canvas 経由で配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

教室へは必ず英和か英英の学習辞典を持参すること。もちろん予習が必須であり、授業を実力向上に結びつけるためには復習も欠かせません。

質問・相談:

履修前の質問・相談は hikaru.sakamoto@keio.jp にて受け付けます。授業開始後の質問等は、授業内での指示に従い Canvas で連絡してください。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Learning English for Academic Purposes with National Geographic

講座番号: 133

セット履修

佐藤 健

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、National Geographicに掲載された記事をベースにしたテキストを用いて、リーディングを主としつつも総合的な英語スキルを伸ばすことを通して、専門科目を学ぶ上での基礎となる英語能力を養うことを目的とする。加えて英文を受動的に理解するだけでなく、

批判的な立場から解釈し、自身の意見を表明できる能力と態度を養成する。

授業は基本的に教科書に沿って行われるが、テキストとは異なるタスクを実施する場合もある。更に自身で興味のある記事や教科書の任意のテキストを自ら選択し、その内容と自分の意見を他の学生に発表する活動を実施する予定である。

オンライン授業では、内容理解問題演習やオンデマンド型講義視聴を、対面授業時にはペアやグループでの協働活動を中心に実施する。能動的な態度での受講を希望する。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

オンライン・対面授業での活動(小テスト・レポート・発表)・授業貢献・期末テスト(語彙・リーディング・リスニング)のスコアを以下の割合で合算し、60点以上の者に単位を与える

出席・授業内活動(70%)・期末テスト(30%)

テキスト(教科書):

Reading Explorer Third Edition Level 4 Cengage Learning 2020, ISBN: 978-0-35-711629-6

参考書:

授業時あるいはオンライン学習支援システム上に随時提示する。

担当教員から履修者へのコメント:

授業内での能動的な態度を促すため、他の履修者との協働活動が必ず実施される。またグループやクラスに対してプレゼンテーションを行なう機会がある。ハイブリッド型授業のため、対面・オンライン授業に関するリソースは学習支援システムであるGoogle Classroomにアップされる。よって対面授業時でもノートパソコンやタブレット等のデバイスを持参することを強く推奨する。

質問・相談:

授業時に直接質問するか、メールまたはGoogle Classroomのコメント機能を利用すること。メールは satoken74@keio.jp

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

世界と日本のつながりを読み議論しよう

講座番号: 134

セット履修

沢村 静

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英文を読解できる喜びは、努力なしに味わえません。リーディング・ストラテジーを駆使し英語の語彙を増やしながら、日本に関わる様々なトピックを英語で読み込みましょう。日本国内や世界とその関わり、日本人がどのようにしたら世界の人々とわかり合えるようになるかを論じたエッセイを読み、日本人としての意識や考え方について再考しましょう。また世界で活躍できる国際人を目指し、英語圏で生活する際にも役立つような英語表現の習得を目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は出席状況、小テスト、授業態度、また学期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

春・秋学期

Reading Fusion 3

リーディング・フュージョン3

著者 Andrew E. Bennett 著

ISBN 9784523179047

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

世界と日本のつながりを読み議論しよう

講座番号: 135

セット履修

沢村 静

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英文を読解できる喜びは、努力なしに味わえません。リーディング・ストラテジーを駆使し英語の語彙を増やしながら、日本に関わる様々なトピックを英語で読み込みましょう。日本国内や世界とその関わり、日本人がどのようにしたら世界の人々とわかり合えるように

なるかを論じたエッセイを読み、日本人としての意識や考え方について再考しましょう。また世界で活躍できる国際人を目指し、英語圏で生活する際にも役立つような英語表現の習得を目指します。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は出席状況、小テスト、授業態度、また学期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

春・秋学期

世界を語る、日本を語る

Searching the Future, Reviewing the Past

著者 David Dykes / 角岡 賢一 著

本体 1,900円 (税込2,090円)

ISBN 9784791933938

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

イギリスの短編小説を読む

講座番号: 136

セット履修

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

20世紀に活躍したイギリスの作家ダールの短編小説を読みます。平凡な主人公の日常がふとしたことで輝いたり狂ったりする様が、独特なユーモアの感覚で描かれます。英語は比較的平明ですが、行間に宿るニュアンス、表現の妙味をこそ逃さず感得することを目指します。研ぎ澄まされた筋の運びを緻密に味わっていくことで、英語の深みに触れていきます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期末・秋学期末試験と平常点(出席状況及び授業時の成果)による。

テキスト(教科書):

Roald Dahl, *The Hitch-hiker and Other Tales* (鷹書房弓プレス)

担当教員から履修者へのコメント:

基本的には教室での対面の授業です。十分な予習をして授業に臨んでください。読み飛ばすことなく、じっくり読んでいきます。原文の理解を確認・検討する手立てとして、和訳していく作業が中心です。

授業計画は予定ですので、進度によって変わります(読む話の順番は、本の掲載順とは異なります)。(新型コロナウイルス感染防止を理由に登校しない場合には、keio.jp の「授業掲示板」への投稿によってご連絡ください(その際は、本文中には名前を書かないでください。担当教員には投稿者氏名がわかります)。

質問・相談:

教室で受け付けます。keio.jp の「授業掲示板」への投稿もできます(その際は、本文中には名前を書かないでください。担当教員には投稿者氏名がわかります)。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

多様な英文の速読

講座番号: 137

セット履修

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

テキストは、新聞のコラムやエッセイ、日記、短編小説など、様々なタイプの英語で書かれた文章です。毎回、テキストの読解を和訳で確認し、内容に即した課題を行います。これらの提出(及び返却)によって、内容が的確に把握されているかを確認します。行間のニュアンスも疎かにせず、英語の深みに触れることを目指します。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

毎回のレポート提出による。

テキスト(教科書):

Simon Greenall and Diana Pye, *Cambridge Skills for Fluency: Reading 4* (Cambridge University Press) [コピーを keio.jp で配布します]

担当教員から履修者へのコメント:

授業に関する告知、テキストの配布、レポートのやり取りなどは基本的に keio.jp の授業サイトで行います。特に「お知らせ」に留意

してください。毎回の課題提出が必須です。授業計画は予定ですので、進度によって変わります。

質問・相談:

授業に関する質問は、keio.jp の「授業掲示板」に投稿してください(その際は、本文中には名前を書かないでください。担当教員には投稿者氏名がわかります)。提出レポートに質問・相談を加えて書いても構いません。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

西洋美術における風景に関する論考を読解する

講座番号: 138

セット履修

高橋 三和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、Malcolm Andrewsによる西洋美術における風景に関する著作*Landscape and Western Art*を読解します。風景の概念の考察に始まり、ルネサンス絵画における発展、トポグラフィーとの関係などあらゆる角度から分析した論考を読み、英語読解力向上を目指します。トピックや論の展開の把握、注の読み方などを含む学術書読解の基礎的な技術を養いつつ西洋美術についての知識を深めます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(小テスト・出席)及び学期末の課題又は試験から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

Malcolm Andrews, *Landscape and Western Art*, Oxford History of Art (Oxford: Oxford University Press, 1999) ISBN: 978-0-19-284233-6

担当教員から履修者へのコメント:

学術的な著作を読解するにあたり、入念な予習が必要となります。英語の語彙力の強化、文法・構成の理解を含む読解力向上に対する意欲に加え、扱うトピックの背景的知識を理解、吸収する姿勢を期待します。

質問・相談:

「授業支援」のメッセージから質問を受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

イギリス人写真家による明治日本旅行記を読む

講座番号: 139

セット履修

高橋 三和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

明治時代の日本を訪れたイギリス人写真家Herbert G. Pontingによる写真入り旅行記*In Lotus-land Japan*を読みます。旅行記ならではの空間描写を含む生き生きとした文体を堪能しつつ英語の読解力向上を目指します。長いセンテンスの英文訳出のスキルを高めることを目標とします。豊かな表現力によるエピソードや情景の記述を明治期の美しい写真とともに読み、英語による日本及び日本文化の描かれ方を学びます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(小テスト・出席)及び学期末の課題又は試験から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

プリント教材

担当教員から履修者へのコメント:

写真家である筆者の文章は、写真あるいは絵画を思わせる詳細な風景描写を数多く含みます。このため、重文、複文を用いた難解な長文が度々現れます。毎回の入念な予習は欠かせません。意欲的に読解に取り組む学生を歓迎します。

質問・相談:

「授業支援」のメッセージから質問を受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

第2言語習得理論を原書で読む

講座番号: 140

セット履修

田辺 寛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんにとって外国語の習得は過去、現在そしてこれからの自己実現に深く関わっていると思います。第2言語習得というテーマで、著名な応用言語学者による外国語の習得のメカニズムについての様々な英語の文献を読みます。この授業はContent Based Approachという指導哲学に基づいて行います。授業で扱う題材に対する興味とそこから生まれる学習動機によって学習を継続し、精読、多読を併用しながら、読んだ内容について理解を深めるためのグループディスカッション、プレゼンテーションを通して自然に英語読解力を高めようとするものです。グループ発表形式をとりますので、事前に十分な予習が必要です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

レポート、授業への貢献度、出席をもとに成績が判定されます。

テキスト(教科書):

Oxford, Rebecca L. (1990). *The Language Learning Strategies: What Every Teacher Should Know*. Longman.Ellis, R. (1985). *Understanding Second Language Acquisition*. Oxford University Press.Krashen, Stephen, and T. Terrell. (1983). *The Natural Approach*. Prentice Hall.

他、応用言語学、社会言語学、心理学、行動学等の文献。授業で指示します。テキストの変更があり得るので事前に準備する必要はありません。

参考書:

Wallace, J.M. (1980). *Study Skills in English*. Cambridge University Press.

担当教員から履修者へのコメント:

英語の学び方、教え方についてのテーマを扱い、学んだことを実践的に活用します。専門分野に直結する文献をしっかりと読んで、議論することを期待する人に向けたクラスです。将来外国語の教員を目指す人、言語習得に興味のある人にお勧めしたいテーマです。意欲、レベルに応じた形で英語でのディスカッション、プレゼンテーションをしていただきます。

質問・相談:

tanabe@77.net you.jpから教員に受講についての質問ができます。遠慮なくご相談ください。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

教育言語学の文献を原書で読む

講座番号: 141

セット履修

田辺 寛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんにとって外国語の習得は過去、現在そしてこれからの自己実現に深く関わっていると思います。教育言語学というテーマで、著名な応用言語学者による外国語の習得のメカニズム、習得法についての様々な英語の文献を読みます。この授業はContent Based Approachという指導哲学に基づいて行います。授業で扱う題材に対する興味とそこから生まれる学習動機によって学習を継続することが理想です。

発表形式を中心に、精読、多読を併用しながら、読んだ内容について理解を深めるためのグループディスカッション、プレゼンテーションを通して自然に英語読解力を高めようとするものです。発表形式をとりますので、事前に十分な予習が必要です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

発表内容、レポート、試験、授業への貢献度、出席をもとに成績が判定されます。

テキスト(教科書):

1. Krashen, Stephen D., and Terrell, T. (1988). *The Natural Approach*. Prentice Hall. ISBN:0-13-609934-32. Krashen, Stephen D. (2004). *The Power of Reading*. Heinemann. ISBN: 1-59158-169-9

他、応用言語学、社会言語学、心理学、行動学等の文献。授業で指示します。変更があり得るので事前に準備する必要はありません。

参考書:

Wallace, J.M. (1980). *Study Skills in English*. Cambridge University Press.

担当教員から履修者へのコメント:

英語の学び方、教え方についてのテーマを扱い、学んだことを実践的に活用します。専門分野に直結する文献をしっかりと読んで、議論することを期待する人に向けたクラスです。将来外国語の教員を目指す人、言語習得に興味のある人にお勧めしたいテーマです。意欲、レベルに応じた形で英語でのディスカッション、プレゼンテーションをしていただきます。

質問・相談:

tanabe@77.net you.jpから教員に受講についての質問ができます。遠慮なくご相談ください。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Abolitionism を読む

講座番号: 142

セット履修

辻 秀雄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

読み応えのある英語で書かれたアメリカ史を題材にしたテキストを講読し、大学教養レベルにふさわしい英語力を身につけることを目標とします。

以下のような事柄に重点を置いています:

- ・学術文章レベルの英語を理解する。
- ・人種問題を切り口にアメリカ史の基礎事項を学ぶ。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席状況、授業参加、発表、課題による評価) 50%

学期末試験の結果による評価 50%

テキスト(教科書):

Richard R. Newman, *Abolitionism: A Very Short Introduction* (Oxford UP) ISBN: 9780190213220

参考書:

授業内で紹介

担当教員から履修者へのコメント:

1段落ごとに担当者を決めて発表をしてもらう予定です。発表内容は、全訳(段落のまとめ)、難しい英語表現等の解説、文化や歴史に関わる事柄の解説。履修者はレッスン範囲のテキストを読んで授業に臨み、発表に対して質問やコメントをしてもらいます。

授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。5回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。

対面・オンライン併用で授業を行う予定です。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

American Cultural History を読む

講座番号: 143

セット履修

辻 秀雄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

読み応えのある英語で書かれたアメリカ文化を題材にしたテキストを講読し、大学教養レベルにふさわしい英語力を身につけることを目標とします。

以下のような事柄に重点を置いています:

- ・学術文章レベルの英語を理解する。
- ・アメリカ文化についての基礎事項を学ぶ。
- ・文化理解の今日的な視座にふれる。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席状況、授業参加、発表、課題による評価) 50%

学期末試験の結果による評価 50%

テキスト(教科書):

Eric Avila, *American Cultural History: A Very Short Introduction* (Oxford UP)

ISBN: 9780190200589

参考書:

授業内で紹介

担当教員から履修者へのコメント:

1段落ごとに担当者を決めて発表をしてもらう予定です。発表内容は、全訳(段落のまとめ)、難しい英語表現等の解説、文化や歴史に関わる事柄の解説。履修者はレッスン範囲のテキストを読んで授業に臨み、発表に対して質問やコメントをしてもらいます。

授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。5回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。

対面・オンライン併用で授業を行う予定です。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Basic Reading Strategies

講座番号: 144

セット履修

津田 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英語を一語一語日本語に置き換えるのではなく、英文を読んで自分が必要としている情報を得る、または内容を正しく理解するために必要な基本的なストラテジーの習得、実践的な英文読解能力の向上を主たる目的とする。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業内容の理解度、課題の提出、小テスト、Reviewテストの結果などを見て総合的に判断する。

テキスト(教科書):

不要

担当教員から履修者へのコメント:

毎回の授業内容を必ず復習し、与えられる課題一つ一つに真摯に取り組むことが大切です。また、わからないことはそのままにせず、積極的に質問をして解決するようにしてください。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

映画の脚本から学ぶ英語

講座番号: 145

セット履修

徳永 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

映画を題材として、総合的な英語力(とくに読解力・表現力)の向上を目指します。春学期は、*Before Sunrise*を取り上げます。見知らぬ土地で出会い、共に一日を過ごすことになった20代の男女二人が織りなす会話には、みなさんも共感できるテーマがちりばめられているでしょう。字面を追うだけでなく、想像力をフルにはたらかせて場面をイメージしたり、会話の行間を読み取る楽しみを味わいましょう。秋学期には、Paul Austerの短編小説、"Auggie Wren's Christmas Story"をベースにして制作された名作、*Smoke* (監督・Wyne Wang、脚本・Paul Auster)と一緒に楽しみましょう。読み返したり鑑賞する度にあらたな発見や気づきのある作品です。

授業では、年間を通して、グループ・ディスカッションや英語での口頭発表の時間も取り入れる予定です。また英語を(日本語に細かく訳さず)英語のままで捉える練習のために、Graded Readersを用いた多読や、リスニングの課題などを予定しています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席、予習、授業への取り組み、課題物の提出)、口頭発表、テストの総合点で評価します。

テキスト(教科書):

- *Before Sunrise and Before Sunset* (New York: Vintage, 2005) ISBN: 9781400096046

- *Smoke* (Tokyo: Shohakusha, 1995) ISBN: 9784881984574

生協で購入してください。

参考書:

- 語彙・読解・聴解練習のためのプリントを随時配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

・対面を中心とした授業です。一部、オンデマンド方式の授業を取り入れます。詳細は初回の授業で説明します。

・予習をして授業に臨むこと。また特別な事情を除き、発表担当日の欠席は原則として認めません。

・特別な理由なく、各学期に4回以上欠席すると、単位の取得が難しくなります。事情がある場合は早めに相談してください。

質問・相談:

授業の前後、メール、事前の予約による面談で受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

エッセイと映画化された小説から学ぶ英語

講座番号: 146

セット履修

徳永 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、毎回のクラスで一定量の英語の文章を読み、総合的な読解力のさらなる強化を目指します。またテキストの内容について、クラスの仲間とディスカッションしたり、口頭発表をする練習も行いましょう。英語でのparagraph writingも学習します。

春学期はH. G. Wellsの作品を取り上げます。授業では、20世紀初頭にしてインターネットやウィキペディアの到来を予見していたことを思わせる、彼の名エッセイ「世界頭脳」を取り上げます。最初は少し難解に感じるかもしれませんが、一緒にじっくり名文を味わいましょう。文章の行間を読み解く知的好奇心のある人にぴったりです。秋学期には、映画化された短編小説と一緒に楽しみましょう。'The Wisdome of Eve' (映画は'All about Eve')などを扱う予定です。受講者には原作と映画の比較分析を英語でのプレゼンテーションとレポートで発表してもらいます。また、Wellsの名作SF『タイムマシン』(多読教材用のリトル版)を自習課題図書とします。定期的な小テストを実施し、多読による読解力の強化を年間を通じて図ります。なお対面・オンライン併用の授業ですが、教室での授業を中心にを行います。教室に来られない場合は事前に教員に連絡の上、Zoomで参加してください。詳細なスケジュールは初回にお知らせします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席、授業や課題への取り組み)、テスト、口頭発表、レポートの総合点で評価します。

テキスト(教科書):

・H. G. Wells, 『ワールドブレインーH・G・ウェルズの「世界頭脳」』*The Brain Organization of the Modern World* (東京: 開文社, 2009) ISBN: 978-4-87571-477-4

・H. G. Wells, *Time Machine*. Pearson English Readers Level 4. ISBN: 9781405882347

・秋学期に読む短編小説はkeio.jp上で配布します。

参考書:

随時紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

・対面を中心とした授業です。一部、オンデマンド方式の授業を取り入れます。詳細は初回の授業で説明します。

・予習をして授業に臨むこと。また特別な事情を除き、発表担当日の欠席は原則として認めません。

・特別な理由なく、各学期に4回以上欠席すると、単位の取得が難しくなります。事情がある場合は早めに相談してください。

質問・相談:

授業の前後、メール、事前の予約による面談で受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

読書の歴史を/から学ぶ

講座番号: 147

セット履修

徳永 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

私たちの日常において読書は欠かすことのできない文化的営みですが、みなさんは「読書」について、深く考えたことはありますか？たとえばコンピューターのない時代、本はどのように作られたのでしょうか。本屋さんや図書館はいつから誕生したのでしょうか。いまや読書は一人で黙読することが一般的ですが、古代や中世初期のヨーロッパでは、音読が主流であったといっても過言ではありません。急速なデジタル技術やAIの発展に伴い、現代社会では、人間の「読む」という行為の意義について再考が迫られています。この授業では、読書の形態や本の変化と歴史にかんして英語で書かれた概説書を読み進めることで、読書とは何かという問いについて考え、読書史、書物史にまつわる基本概念や歴史について学術的に学ぶことを目的とします。授業は精読が中心となりますが、グループワークや口頭発表も取り入れる予定です。本授業で一年間、英語で書かれた一般概説書を精読することで、専門課程で必要となる文献講読のための基礎力が養われるでしょう。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席・予習・授業への取り組み)、課題物の提出の総合点で評価します。

テキスト(教科書):

・Belinda Jack, *Reading: A Very Short Introduction* (Oxford: Oxford University Press, 2019) (ISBN: 9780198820581)

参考書:

授業内で適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

・予習をして授業に臨むこと。また特別な事情を除き、発表担当日の欠席は原則として認めません。

・各学期、特別な事情なく4回以上欠席すると単位取得は難しくなります。事情がある場合は早めに相談してください。

質問・相談:

・授業の前後、メール、事前の予約による面談で受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

ジョン・カーペンター『ゼイリブ』関連テキストを読む

講座番号: 148

セット履修

富塚 亮平

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、前期・後期を通じてジョン・カーペンター監督の映画『ゼイリブ *They Live*』(1988)に関連するテキストを扱います。しばしばカルトB級映画と称される同作は、単にコミカルなだけではなく、トランプ政権時代に再び注目を集めるなど、近年世界中で再び勢いを増しているように見える全体主義的な発想への優れた批評の要素をも含んでいます。具体的には、原作の短編小説(1963)、そのコミック版(1986)、映画版(1988)の内容を順に確認した後、作家ジョナサン・レセムが映画版について詳細に論じた小著 *They Live*(2010)を読んでいきます。英文構造の正確な理解に加えて、アメリカ文化について学ぶ上での基礎知識を幅広く身につけることを目的とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(予習・出席・授業参加)、課題(エッセイ・学期末レポート)の総合点で判断します。

テキスト(教科書):

Jonathan Lethem *They Live* (Soft Skull Press, 2010).

参考書:

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

本授業はオンラインでの実施となります。Zoomでのリアルタイム配信授業とオンデマンド方式を併用予定です。詳しくは初回授業にて説明します。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

さまざまな英語とその文体を学ぶ

講座番号: 149

セット履修

中村 哲子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、さまざまな英語を読んで文体の違いが感得できるようになることを目指します。多様な文学作品のリーディングを基盤として、関連事項について書かれた事典の解説、論文、ジャーナリスト的な記事などに触れることで、英語を多角的にとらえる姿勢を身につけます。基本的には精読ですが、時に応じて、速読を行ったり、関連動画でリスニングにも挑戦します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業課題(40%)、期末提出課題(25%)、確認小テスト(35%)の合計点にて評価する。

テキスト(教科書):

教材配布(オンライン教材を含む)

参考書:

各種辞書(授業にて指導する)

担当教員から履修者へのコメント:

出席重視。授業では授業開始時に出席している学生を出席者とみなす。各授業で明確にする課題等の準備学習について、辞書を用いて60分以上の時間をかけて丁寧に行い、指示された締切日時までに提出すること。課題等については随時授業内あるいは教育支援システムCANVASを活用してフィードバックする。授業の進度は、状況に応じて前後することがある。なお、本科目は、卒業認定・学位授与に関連する科目である。

質問・相談:

授業の前後に対応し、必要に応じてe-mailを利用する。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

サスペンス小説講読

講座番号: 150

セット履修

新名 ますみ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

サスペンス小説を読みながら、英語の豊かな表現を学びます。優れた作品には、緊迫感あふれる筋書きに加え、人物の心理描写や巧まざるユーモアが重要な要素となっていることが多いものです。それを楽しみながら読むことで、一語一語をおろそかにせず行間を読む力を習得します。内容も「ある青年が誘拐された。彼が閉じ込められたのは絶対に脱出できない空間。そこから彼が試みた脱出劇とは？そして、彼を救わんとする父親や警察の活躍は……？」など、退屈しないで読んでいける筋書きととなっています。

授業は、オンデマンドで動画を視聴してもらう形で行います。あらかじめ提示された事前課題を提出した上で受講してください。事前課題では、指定された箇所の和訳と質問、及び前週の復習問題が出題されます。この課題では英文を精読するための熟考や個性が求められるので、時間をかけて取り組めるようにしてください。なお、出欠の確認は、授業後に自己採点を含めたアンケートを提出してもらうことで行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席、課題の点数、授業後アンケート内容)などから評価する。

テキスト(教科書):

プリント(授業時に配布)

担当教員から履修者へのコメント:

テキストの英文を予習として全員に英訳してもらいます。綿密な英文和訳の作業や精読に興味がない学生には不向きな授業と承知してください。

試験結果や成績の詳細については、授業内のメッセージから個別にお知らせします。

質問・相談:

下記のメールアドレスまで連絡してください。

英語 I 中級 1 単位(春学期)**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

カズオ・イングロの小説を読む

講座番号: 151

セット履修

沼田 香穂里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

このクラスの目的はカズオ・イングロの小説『私を離さないで』を読むことを通じ、英語の読解力を高めることにあります。カズオ・イングロは2017年にノーベル文学賞を受賞しました。本作品はSF小説という特殊な設定を扱いながら、「生きる」という普遍的なテーマについて深く考える機会を与えてくれます。人生に意味を与えるものは無垢なのか、それとも真実、愛、創作、記憶なのか? 物語の表面を理解するだけでなく、そこに隠された意味も読み取るため、自分で考えながら読むことが必要になります。

毎週の課題は、指定された場所についての和訳、解釈、意見などです。1回の授業では3ページ前後進む予定です。提出された内容は解説を次週配信する際に引用しますので、クラスの意見に刺激を受けながら小説を読むことができます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は毎週提出してもらう課題と学期最後のまとめの課題(英語小論文を含む)に基づき決定します。詳細は第一回目の授業で詳しく説明します。

テキスト(教科書):

Ishiguro, Kazuo (2011). *Never Let Me Go*. Faber and Faber. ISBN: 9780571258093

担当教員から履修者へのコメント:

この授業はオンデマンドの文書配信で行います。Zoomなどリアルタイムの授業や、映像の配信の予定は無いので、通信環境の悪い学生、自分の都合の良い時間に自分のペースで課題に取り組みたい学生向きです。クラスで意見を出し合って読み進めるので、毎回自分の意見をまとめることを求められます。

質問・相談:

教員への質問はメールでしてください。具体的な方法については最初の授業で詳しく説明します。

英語 I 中級 1 単位(春学期)**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

映画の中の英米詩

講座番号: 152

セット履修

沼田 香穂里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では映画で引用された詩と詩人について学ぶことで、英語の読解力を高めることを目的としています。テキストに取り上げられているのは、『ローマの休日』のような古典映画から『フォー・ウェディング』のような現代のラブコメまで、詩人もシェイクスピアから20世紀のオーデンまで幅広いラインナップです。詩を読むのは慣れないうちは難しいですが、繰り返し学ぶことで大学での学びに必要な英語力を育てていきたいと思えます。

毎週の課題は、指定された場所についての和訳、解釈、意見などです。提出された訳や意見は、解説を次週配信する際に引用しますので、クラスの意見に刺激を受けながら詩を味わうことができます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は毎週提出してもらう課題と学期最後のまとめの課題(英語小論文を含む)に基づき決定します。詳細は第一回目の授業で詳しく説明します。

テキスト(教科書):

Zitowitz, Philip. (2005). *The Poetry of Film*. Kinseido. ISBN 4-7647-0977-5

担当教員から履修者へのコメント:

この授業はオンデマンドの文書配信で行います。Zoomなどリアルタイムの授業や、映像の配信の予定は無いので、通信環境の悪い学生、自分の都合の良い時間に自分のペースで課題に取り組みたい学生向きです。クラスで意見を出し合って読み進めるので、毎回自分の意見をまとめることを求められます。

質問・相談:

教員への質問はメールでしてください。具体的な方法については最初の授業で詳しく説明します。

英語 I 中級 1 単位(春学期)**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

現代英語でアーサー王物語を読む

講座番号: 153

セット履修

辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、中英語のアーサー王ロマンスの傑作 *Sir Gawain and the Green Knight* (『ガウェイン卿と緑の騎士』) を現代英語散文訳で読みます。

秋学期には、春学期に読み残した部分を読み終え、それを踏まえて *Sir Gawain and the Green Knight* に関する論考を読みます。

専門課程で必要とされる学術的な文献読解力へとつなげることを目的とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

配布される教材・資料などすべては、厳密に授業の目的の使用にのみ限定されます。

質問・相談:

随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

新約聖書を文学として読む

講座番号: 154

セット履修

堀 美里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、Kyle Keefer 著、*The New Testament as literature: a very short introduction* を1年かけて読み進めていきます。キリスト教は西洋文化の根底にあり、聖書はキリスト教と切り離せない聖典でもあり、西洋の文学や歴史を学ぶ上では必須の知識です。聖書とほかの文学作品の読み方の違いを検討しながら、聖書の物語がいくつかの文学作品の中でどのように使われているのか、どのようにモチーフとして登場するか、さらには新約聖書の中の4つの福音書に注目し、4人の福音書記者マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネがそれぞれ同じテーマをどのように書いているかを比較するなど、新約聖書をひとつの文学作品として読む際のテーマが与えられます。これらを例として読むことで、私たちは聖書の物語をより深く知り、このテキストで扱われていない文学作品においても聖書的な主題を見出せるようになるでしょう。

アカデミックな英語を正確に読めること、自ら興味を持って調べながら英文を読めることを目標にします。学術的な英語を読む力を養い、今後も自ら英語文献にアクセスできるよう訓練します。また、前期・後期共に、映像解説を視聴して、リスニングにも挑戦します。学生自身が選んだ聖書に関するテーマに関して、英語でエッセイ(レポート)を書く課題を設定しています。

※この授業はオンデマンド方式のオンライン授業で実施されます。keio.jp 内のBoxに、毎回の授業の録画がアップロードされます。大学の方針により、途中で授業形式が変更になる可能性があります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席コメント(10%)、予習(担当制、20%)、エッセイ(30%)、期末試験(40%)

テキスト(教科書):

The New Testament as literature : a very short introduction by Kyle Keefe.

Oxford : Oxford University Press, 2008.

参考書:

指定のテキスト以外に必要な資料がある場合は、授業中に適宜配布します。聖書に関してはアプリやインターネットなども使用して、すぐにアクセスできるようにしておくのがよいでしょう。

担当教員から履修者へのコメント:

文学、キリスト教、聖書、特に西洋のものに関心がある方、これらのテーマに関心を持って精読してみたいという方を歓迎します。この授業で扱っている範囲外でも関連することならば、疑問に思ったことをできる範囲で調べてコメントなどに活かしていけるとよいでしょう。

まずはしっかりとテキストの英語を精読することを念頭に置き、きちんと辞書を引いて予習をしてください。

質問・相談:

授業前・授業中・授業後、メールでも受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

英語 I 中級 1 単位(春学期)**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

キリスト教美術について学ぶ

講座番号: 155

セット履修

堀 美里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、Beth Williamson 著、*Christian Art: A Very Short Introduction*を読みます。キリスト教美術(芸術作品)についての知識を深めると共に、聖書の物語を読み、聖書の物語における重要な人物(聖母マリアやその他の聖人など)、教会建築や中世の書物、現代のキリスト教美術について、この著書の構成にしたがって理解を深めていきます。そして著者が書いているように、キリスト教美術は西洋の歴史、政治、神学や哲学などを多面的にとらえる第一歩になります。

アカデミックな英語を正確に読めること、自ら興味を持って調べながら英文を読むことを目標にします。学術的な英語を読む力を養い、今後も自ら英語文献にアクセスできるよう訓練します。また、前期・後期共に、ロンドンナショナルギャラリーなどの映像解説を視聴して、リスニングにも挑戦します。学生自身が選んだ芸術作品とその物語に関して、エッセイ(レポート)を書く課題を設定しています。

※この授業はオンデマンド方式(録画された動画を視聴する方式)のオンライン授業となります。keio.jp内のBoxに、毎回の授業の録画がアップロードされます。大学の方針に従い、途中から授業形式が変わる可能性があります。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点30%(出席コメント10%・予習への取り組み担当制20%)、エッセイ30%、期末試験40%。

テキスト(教科書):

Beth Williamson, *Christian Art: A Very Short Introduction*. Oxford: Oxford University Press, 2004.

自身で購入するか、keio.jpにテキストをアップロードしますので、各自でダウンロードしてください。慶應義塾図書館のオンラインデータベースでもデジタル版が利用できます。

参考書:

指定のテキスト以外に必要な資料がある場合は、授業中に適宜配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

西洋の文化、歴史、美術、聖書に関して興味関心があり、英語とその内容を丁寧に理解して取り組みたいという方を歓迎します。授業には必ず辞書(いかなる媒体も可)を持参して臨んでください。

質問・相談:

授業前・授業中・授業後、メールでも受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

英語 I 中級 1 単位(春学期)**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

UKロックを通して見るイギリス現代史

講座番号: 156

セット履修

溝部 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

若者文化の勃興は第2次世界大戦後多くの国で見られた現象ですが、イギリスでは、その栄枯盛衰は時代と密接に結びついており、特にロックの歴史にはその時々イギリス社会の状況や人々の心理が色濃く反映されています。本授業では、50年代に始まるUKロックの歴史を現代までたどったテキストを使い、イギリスにおけるそうした社会と文化の関係を見ていきます。主な目標は2つです。

1つめの目標は、UKロックの歴史を辿ることでイギリスに対する理解を深めるとともに、大衆文化を楽しみの対象としてだけでなく社会分析の手段としてとらえ、社会と文化の関係を歴史的にとらえることが出来るようになることです。

次に、テキストの精読を通して語彙力と読解力の強化を目指します。特に、単語の意味をつないで適当に文意を類推するのではなく、文の構造を正確に把握した上で内容を理解する力を養うことが目標です。勤めんの読解は卒業し、応用力の基礎をしっかりと固めましょう。

授業では以上の2つの目標を念頭に、春、秋学期とも対象となるユニットのうち4ユニットほどを精読し、残りは速読する予定です。訳読が中心となりますが、一文一文丁寧にというよりは、意味や構文の取りにくい文に特に注意を払いながら読んでいきたいと思えます。テキストのDebate & Further Researchのセクションについては、そのうちのいくつかをレポート課題として取り組んでもらい、時代ごとのイギリス社会を特徴づける側面についてもいくつか取り上げる予定です。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春・秋学期とも期末に教室で授業内テスト(読解/速読演習を行ったユニットのうち4つを対象とした復習テスト)を実施する予定です。評価はその結果と平常点(出欠状況、授業態度、課題の提出状況とその出来具合など)を総合して行います。また、状況の変化により授業内テストが実施できなくなった場合や新型コロナウイルス関連の個別の事情で教室での受験が叶わない場合は、授業で扱わなかったユニットなどを対象に別途課題を課すことで対応します。その場合、平常点による評価となります。いずれの場合も、欠席もしくは出席に代わる課題(期末テストを含む)の未提出が春・秋を通して9回以上となる場合は、成績評価の対象となる資格を失いますので注意してください。

テキスト(教科書):

Paul Hullah & 寺西雅之, *Rock UK - A Cultural History of Popular Music in Britain* (2012 CENGAGE Learning) ISBN:978-4-86312-204-8 C3082

担当教員から履修者へのコメント:

授業は対面授業とオンライン授業(オンデマンド型)を組み合わせる形で行います。新型コロナウイルスに関わる個々の事情で対面授業に参加できない(または、参加を見合わせる)場合には、オンラインでの課題の提出などで代替します。いずれの場合も必ず自力で取り組み、演習後<試訳>が配布されたユニットについては、これと照らし合わせてきちんと英文を理解しているかどうか確認しましょう。主体的かつ地道な努力なしに本当の力はつきません。なお、オンライン授業で提出された読解の課題については、原則として個々に返却します。

質問・相談:

教室での授業の前後に随時受け付けるほか、オンラインでの課題の提出時やメール(lancaster@keio.jp)でも対応します。

英語 I 中級 1 単位(春学期)**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

アメリカ映画のマイノリティ表象を読み解くー二分法を超えて

講座番号: 157

セット履修

溝部 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代社会の課題である人種・階級・ジェンダー・セクシュアリティを切り口にアメリカ映画を論じた *America on Film* (2009 Second

Edition) から 'Ability' を視点に据えた Part VI を読みます。主な目標は2つです。

まず、精読を通して論理的な文章に慣れるとともに、文の構造や修飾関係をしっかりと把握した上で英文を正確に読み取る力を養うことを目指します。テキストは全部で15の章から成っており、春学期に前半の8章を、秋学期に残りの7章を読みます。ただし、全ての章を精読するのではなく、各学期とも2章ほどは速読する予定で、扱わない章もあります。

2つめの目標は、アメリカ映画におけるマイノリティ表象を分析しつつ、レポート課題などを通して日本社会における差別についても考えることです。

授業は訳読が中心となりますが、読解演習を行う中で意味や構文の取りにくい文に特に注意を払いながら読んでいきたいと思えます。また、読んだ内容を実際に確認し、レポート課題などの参考とするため、映画鑑賞の時間を設ける予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春・秋学期とも期末に教室で授業内テスト（読解演習を行った章を対象とした復習テスト）を実施する予定です。評価はその結果と平常点（出欠状況、授業態度、課題の提出状況とその出来具合など）を総合して行います。また、状況の変化により授業内テストが実施できなくなった場合や新型コロナウイルス関連の個別の事情で教室での受験が叶わない場合は、授業で扱わなかった章などを対象に別途課題を課すことで対応します。その場合、平常点による評価となります。いずれの場合も、欠席もしくは出席に代わる課題（期末テストを含む）の提出が春・秋を通して9回以上となる場合は、成績評価の対象となる資格を失いますので注意してください。

テキスト(教科書):

Harry M. Benshoff & Sean Griffin, *Ability and American Film* (2013 英宝社) ISBN:978-4-269-11007-6

担当教員から履修者へのコメント:

授業は対面授業とオンライン授業（オンデマンド型）を組み合わせる形で行います。新型コロナウイルスに関わる個々の事情で対面授業に参加できない（または、参加を見合わせる）場合には、オンラインでの課題の提出などで代替します。いずれの場合も、必ず自力で取り組み、精読した章は、演習後配布される<試訳>と照らし合わせてきちんと英文を理解しているかどうか確認しましょう。主体的かつ地道な努力なしには本当の力はつきません。なお、オンラインで提出された読解の課題については、原則として個々に返却します。

質問・相談:

教室での授業の前後に随時受け付けるほか、オンラインでの課題の提出時やメール（lancaster@keio.jp）でも対応します。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

本を片手にロンドンの街を歩く

講座番号: 158

セット履修

若澤 佑典

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

高校英語において「問い」とは、テストで与えられるものでした。大学の研究では、みなさん自身が問いを設定し、テキストを論じていくことが求められます。この授業では読書中の「ひっかかり」や「もやもや感」といった気づきや、アカデミックな議論へと昇華する練習をします。クラスで「ワイワイ・ガヤガヤ」と賑やかにやり取りする中で、知が深まっていく過程を体験していきましょう！

教材としてアイリス・マードックの小説『網のなかで』を用います。この物語ではアパートを追い出された主人公たちが、ロンドンの街をあちこち動きまわります。女優や映画ディレクター、哲学者、雑貨屋の女店主など、ロンドンに住まうさまざまな人が登場します。履修者のみなさんと小説を読み進め、ロンドンの地理や文化について、イギリスの人々のあれこれを、一緒に考えていきたいと思えます。何よりマードックの英語はとてめ愉快で、さらに思案的です。彼女の"wit"を通じ、言語理解・表現を深めていきます。

日吉での大学生活を始めたみなさんですが、高校生活とのギャップに直面し、ビックリしている方も多いでしょう。また、猛威を振るっている感染症や不透明な社会状況の中で、「これからどうなるんだ

ろう...」と不安を感じているかもしれません。このクラスは週の終わりに位置していますので、「今週どうだった？」というような会話から、毎週の授業を始めます。英語に触れながら、「今週はこんなことがあったな」と自分の中で振り返ったり、「こんなことがあったよ!」とお互いに話をする、そんな交流の場を一緒に創っていきます。日常生活と知の世界、高校の学びと大学の研究など、隔たった二つの世界を（英語を介して）架橋するのが本授業の目的です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

毎週の授業課題提出/授業内での応答 100%

テキスト(教科書):

Murdoch, Iris. (2019). *Under the Net*. 2019 Centenary Vintage Classics ed. Vintage. ISBN: 9781784875213

参考書:

『「ドラキュラ」からブンガク：血、のみならず、口のすべて』武藤浩史著、慶應義塾大学出版 2006年 ISBN: 978-4-7664-4128-0

『愛と戦いのイギリス文化史 1900-1950年』武藤浩史ほか編、慶應義塾大学出版 2007年 ISBN: 978-4-7664-1328-1

『深読み名作文学 O.ヘンリー「最後の一夜」』横山千晶編著、慶應義塾大学出版 2015年 ISBN: 978-4-7664-2211-5

担当教員から履修者へのコメント:

・この授業はテキストに「応答する」ことを練習する場です。履修者のみなさんが思ったこと、感じたことを話してもらうことで授業が進んでいきます。大学一年次のクラスであることを踏まえ、高校のホームルームのような雰囲気です。ホッと一息つける語学の授業を目指します。

・イギリス社会・文化についての前提知識・経験は問いません。前年度（2020年）の授業メンバーも、海外に行ったことがない人～ロンドンにかつて住んでいた人、もともと理系分野に関心があった人～英語・国際科がある高校に通っていた人など、さまざまでした。このシラバスを読んでビビってきた方、「なんか気になるぞ」という方、大歓迎です！

・みなさんの日々の生活体験や思いを受けて、この授業は深化/進化していきます。その射程は時にイギリスを超えます。前年度の例を挙げると、リスボンのお菓子の話、アメリカの博物館に収蔵された三味線のこと、村上春樹の言語世界、などなど。

質問・相談:

・履修者の希望にあわせ、授業時間内に個人/グループ面談の機会を設けます。授業内で喋り足りないようであれば、授業前後の時間に質問・討議の応対をします。

・初回授業前に連絡用のメールアドレスを公開します。何かあれば気軽にどうぞ。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Social Issues in Everyday Life

講座番号: 159

セット履修

和氣 直子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

日常生活の中で私たちが直面する身近な法制度、雇用、ジェンダー等に関する事例について読みながら、英語の発音とリズム、語彙力、読解力、英語で考える力、英語で書く力を養っていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Evaluation will be based on reading and writing assignments (65%), attendance, class performance, and presentations.

テキスト(教科書):

Caplan, N.A. & Douglas, S.R. (2020). Q: Skills for Success, Level 5: Reading and Writing (3rd ed.). Student Book Split A Pack. Oxford University Press. ISBN: 978-0194904087.

参考書:

References will be provided as needed.

質問・相談:

Students are welcome to ask questions online or in class.

英語 I 中級 1 単位 (春学期)

英語 II 中級 1 単位 (秋学期)

Law and English in Modern Society

講座番号: 160

セット履修

和氣 直子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this course is for students to become more confident in reading English materials and in thinking and expressing their opinions in English. Throughout the course, students will read texts on topics regarding American culture, the legal system, and related social issues, as law is deeply rooted in American society and culture. Japanese society will also be considered. During the semesters, students will experience doing research, writing essays and giving short presentations.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Evaluation will be based on reading and writing assignments (65%), attendance, class performance, and presentations.

テキスト(教科書):

Handouts will be provided in class.

参考書:

References will be provided as needed in class.

質問・相談:

Students are welcome to ask questions online or in class.

【中級発展】

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

Reading C. J. Sansom's "Dissolution"

講座番号: 161

セット履修

井口 篤

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this course, we'll be reading the historical detective novel *Dissolution* by C. J. Sansom (2003). The novel is set in early-sixteenth-century England, when the Reformation zeal swept across all sections of society. One day, Matthew Shardlake, a lawyer residing in London, is summoned by the Lord Chancellor Thomas Cromwell. Shardlake's mission, Cromwell orders, is to investigate a mysterious murder perpetrated in the Scamsea Abbey. As Shardlake dutifully carries out his detective work, however, he finds himself entangled in a complex, kaleidoscopic web of desires, plots, conspiracies, and, most dangerously, revenge.

The reason why *Dissolution* has been chosen as the textbook for this course is twofold: (1) at the risk of sounding banal, this is a so-called 'unputdownable page-turner', and as such it will compel you to read till the very end (in other words, you'll be able to experience a reading marathon before realizing it); and (2) since the novel is meticulously studded with details of sixteenth-century life, the reader is provided with insight into how people in the Reformation period lived, thought, and fought each other both physically and ideologically.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Assessment will be made based on attendance (20%), class participation (20%), and the end-of-term exam (60%).

テキスト(教科書):

C. J. Sansom, *Dissolution* (London: Macmillan, 2003; repr. Pan Books, 2015) [ISBN: 978-1447285830]

担当教員から履修者へのコメント:

Anyone interested in reading novels in English will be welcome. Doing the reading assignment for each class is absolutely necessary. The end-of-term exam papers will be returned to each student with comments.

質問・相談:

Questions can be asked before, during, or after the class, either in person and by email.

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

随筆を読む

講座番号: 162

セット履修

宇沢 美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

オンライン・オンディマンド併用の中級発展レベルの読解力養成のコースです。このクラスでは、G.K.Chestertonの"On Running after One's Hat"をはじめとする古典的な名文をはじめ、20、21世紀の作家たち (Amy Tan, Maxine Hong Kingston, Richard Rodriguez他) による名随筆文を読みます。用いられている英語表現、レトリック (修辞、言い回し)、論の組み立て方などに注意しながら読み、随筆の内容や構成を分析します。春学期は比較的小さい文章からはじめ、秋学期は長めのものを読もうと思います。毎回の授業資料はkeio.jpを通して配布されます。課題提出方法などはkeio.jpからの指示にしたがってください。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験による評価 (50%)

平常点: 出席状況および課題等による評価 (50%)

により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

毎週読むエッセーおよび授業資料 (課題) はkeio.jpを通して配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

隔週でZoomを用いてオンライン授業を行います。課題はkeio.jpを通して授業資料と共に毎週配布されます。

また、毎週提出される課題はクラス全体に対して、コメント付きで公開される可能性があります。

第1週はZoomにて授業を行います。このクラスのzoom情報はkeio.jpにて通知されますのでそちらを参照してください。

質問・相談:

uzawa@keio.jp で随時受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

絵画で学ぶイギリス文化史

講座番号: 163

セット履修

江崎 麻里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

多種多様な絵画と図版を用いて、イギリスの文化史を概観する。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

日常点(出席点・課題・発言) 60%

春学期・秋学期試験 40%

テキスト(教科書):

1. F. E. ハリデイ 著 『イラストで学ぶ概説イギリス文化史』 (2) 英宝社 2000年 ISBN: 978-4-269-12018-5

2. F. E. ハリデイ 著 『イラストで学ぶ概説イギリス文化史』 (3) 英宝社 2000年 ISBN: 978-4-269-12019-3

参考書:

授業中に随時、紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

遅刻厳禁。辞書必携。

地道に積み重ねていくことが好きな人に適した授業です。

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

オーストラリア・ニュージーランドの短編小説を読む

講座番号: 164

セット履修

加藤 彩雪

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、オーストラリアとニュージーランドの短編小説を読みます。春学期は、ニュージーランド出身のキャサリン・マンスフィ

ーランドの短編を精読します。秋学期は、オーストラリア・ニュージ
ーランドの文学史を概観しながら、オーストラリアの国民的作家で
あるヘンリー・ローソンや現代において活躍する作家など幅広く取
り上げる予定です。英語と日本語の表現の違いを学びながら、英語
を読む力を向上させます。南半球の文化・文学・英語に触れる時間
となります。

授業では、まず段落全体の大まかな内容を把握し、次に一つ一つの
文章の意味を確認していきます。基本的な文法事項、段落の構造、
時代背景を確認しながら、「批判的に読む力」、情感豊かに「登場人
物の心理を読み取る力」を養うことを目指します。また、学習した
作品に関するグループディスカッションを行うことで、自分の意見
を発信するだけでなく、クラスメイトの意見を聞く作法も身につ
けます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は、平常点やレポートを総合的に評価します。

テキスト(教科書):

Mansfield, Katherine (2015). *The Garden Party and Other Stories*. Nan'un-
do. ISBN:978-4-523-03603-6

その他プリント配布(keio.jp)にアップしますので、授業には各自プリ
ントアウトしたものを持参してください)

参考書:

授業にて適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

該当箇所の予習をし授業には辞書を持ってきてください。

質問・相談:

質問・相談は授業終了後または、メールにて受けます。

英語Ⅰ 中級発展 1 単位(春学期)

英語Ⅱ 中級発展 1 単位(秋学期)

ディズニー映画の映し出す社会

講座番号: 165

セット履修

倉科 真季

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

【この授業は、グループワークの機会を多く設けるため、教室での密
集状態を避ける目的で、基本的にZoomを用いたライブ配信にて実施
予定です。履修者の皆さんには、火曜4限の時間帯にZoomを開始で
きるよう準備しておくことを求めます。インターネット環境等の都
合で、この日時にやむを得ず参加ができない事態になった場合は、
必ず授業終了後に配信されるオンデマンド動画で授業内容を確認し
てください。】

この授業では、ディズニーアニメを社会的・文化的な観点から読み
解くことを目的に書かれた映画論をテキストとします。文章の精読
を通して英語のリーディング能力の向上を目指すと共に、文学作品
や映画をアカデミックな視点から分析・批評するとはどのようなこ
となのか、論文の読解を通して学んでいけたらと考えています。
扱う映画を適宜紹介したり、グループワークやプレゼン等を行ったり
しながら内容理解を深めた上で、映画やテキストに対する学生各
々の意見や見解をクラスで共有できるように授業を進めていくつも
りです。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

教科書問題への解答(20%) + 平常点(グループワークへの参加)
(40%) + 期末課題(40%)で総合的に判断します。

テキスト(教科書):

國友万裕、安田優編注『ディズニーアニメと多様化する社会』*Disney
Films and Secret Messages: Race, Ethnicity, Gender and Sexuality* (英宝
社、2019年) ISBN: 978-4-269-11008-3

参考書:

授業内でその都度紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業では、グループワークを行いながら本文の内容理解を深めてい
きます。

毎回授業までにきちんと指定された範囲の精読を行って授業に臨む
ことが基本と考えてください。

個々の文章の意味を理解するだけでなく、文章の前後関係を把握
し行間を読むレベルにまで到達できるように心がけて授業を行うの

で、履修者の皆さんもそのつもりで学習を進めてもらえたらと思
います。

質問・相談:

授業内や授業後のほか、初回にお知らせする連絡先にて受け付けま
す。

英語Ⅰ 中級発展 1 単位(春学期)

英語Ⅱ 中級発展 1 単位(秋学期)

エッセイ集『時の咀嚼』を読む

講座番号: 166

セット履修

小泉 由美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、ドリス・メイ・レッシング(1919-2013)のエッセイ集
『時の咀嚼』(2004年)を読み進めます。レッシングは、ケルマーン
シャー(現在のイラン)生まれの小説家(英国国籍)。静謐で深くや
さしい彼女の人間描写(時々の猫描写)をゆっくり丁寧に咀嚼しな
がら、主題および英文構造の精緻な把握と理解を磨いていきます。
毎回、5ページ程度の予習、課題提出(和訳/英作)、および学期末
レポートの作成がもてられます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(予習・出席)、課題(和訳・英作・学期末レポート)の総合
点で判断します。

テキスト(教科書):

Doris Lessing, *Time Bites: Views and Reviews* (2004; Harper Perennial,
2006)

質問・相談:

随時、受け付けます。

英語Ⅰ 中級発展 1 単位(春学期)

英語Ⅱ 中級発展 1 単位(秋学期)

グーテンベルク聖書から始める書物史

講座番号: 167

セット履修

小竹 直

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

書物史の金字塔のひとつ「グーテンベルク聖書」を足掛かりに洋の
東西を問わず書物の歴史について書かれた複数の英文を読みながら、
対象への理解を深めつつ、英文を正確に読む力を養うことが本講義
の目標です。

世界で50冊にも足らない数しか現存しない非常に貴重なグーテン
ベルク聖書の一冊が慶應にあります。1996年に慶應にたどり着くま
での500年以上、この一冊の書物はどのような歴史をたどってきたの
でしょうか。本講義では、まずグーテンベルクという人物と彼の発明
について読み進めることから始め、その聖書の一冊が慶應にやって
きた経緯にもスポットライトを当てます。

またより広い意味での書物史を考えるため、グーテンベルク以前の
西洋の手書きの書物(「写本」と呼ばれます)や日本での書物や印刷
の歴史について書かれた英文も利用します。

毎回の授業では、英語の訳読に加えて、トピックに関連した映像資
料を利用し、リスニング力の向上を図りながら多角的に対象の理解
を深めていきます。

(授業形式について)

コロナウィルスの影響で昨年度の授業はオンラインになりました。
今年度も社会情勢を注視しつつ大学からの指示に従い、受講者の安
全を最優先に授業を進めていきます。現時点でこの授業はオンライ
ンでの開講予定です。基本的な形式はオンデマンド式として、補助
的にZoomを用いたリアルタイムのQ&Aセッションなど行う予定で
す。不安もあるかと思いますが、初回の授業で丁寧に説明し、メー
ルでのサポートも徹底していきます。講義の授業はオンデマンド式
との相性が良くない部分も確かにありますが、さまざまな映像・音
声資料を取り入れながら、単なる「対面授業の代用」としてのオン
ライン授業ではなく、オンライン・オンデマンドならではの利点を
活かしながら、受講者が知的好奇心をもって授業に挑めるように工
夫していきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末課題(レポート)(60%)、平常点[出席、予習・授業中の学習状況](40%) オンライン授業での出席確認は課題提出などを利用して行います。

テキスト(教科書):

初回授業で説明しますので、教科書購入の必要はありません。

参考書:

授業内で指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

辞書(電子辞書も歓迎)を活用してください。予習・復習は必須です。とくに書物史・西洋史・西洋美術・中世文学・宗教史などに関心のある学生の参加を期待しますが、予備知識は必要ありません。積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

質問・相談:

相談・質問は基本的にメールでいつでも受け付けています(アドレスは初回授業時に通知します)。授業時間に合わせて、補助的なQ&AセッションをZoomで行うこともあります。臨機応変に対応していきますので、心配なことがあったらいつでも相談してください。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

精読入門-短編小説を読む

講座番号: 168

セット履修

坂本 光

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

主に短編小説をテキストとし、効率よく正確に英文を理解するためのトレーニングを行います。

外国語であれ母語であれ、正確な読解には、十分な語彙と構文の認識、そしてコンテキストの理解が重要です。この授業では、特に構文とコンテキストへの感覚を、バランスをとりながら磨いていくことを目標とします。

【授業形態に関する注意事項】

- この授業は教室で対面にて行います。
- ただし新型コロナウイルスの感染状況が悪化した場合は、オンライン形式に移行します。移行する場合にリアルタイム形式とするか、オンデマンド形式とするかは未定です。
- オンライン形式に移行するかどうか、また移行する場合のタイミングは、原則として日吉キャンパス全体の判断に従います。
- 新型コロナウイルスへの感染リスクの高さが理由である場合のみ、対面授業へのオンラインでの参加を認めます。
- オンライン履修を希望する場合は、第一回授業までに hikaru.sakamoto@keio.jp へ希望理由を詳しく具体的に知らせ、許可を得てください。許可を得ずにオンライン中継に参加しても、出席とはみなしません。
- オンライン履修は、教室での授業を Zoom 等を用いてリアルタイム中継することで実現します。教室での授業と100%同じ体験を提供することはできないことを了解してください。
- オンライン履修者も、小テストや期末テストを教室で受験できます。教室での受験が不可能な場合は、教室での受験者とは異なる成績評価方法を適用します。(2020年度のやり方から変更し、新たな方法を採用する予定です。)
- 教室で受講している学生も、新型コロナウイルス感染リスクの変化等の理由がある場合、学期途中でオンライン履修へと変更できます。その場合は、できるだけ早い段階で具体的な希望理由を知らせ、私から許可を得てください。許可を得ずにオンライン中継に参加しても、出席とはみなしません。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

▶ 成績評価は「春学期平常点」25%、「春学期中間・期末試験」25%、「秋学期平常点」25%、「秋学期中間・期末試験」25%の比重で算出します。

▶ 各学期「平常点」は、予習の成果、授業参加の積極性や小テスト等から算出します。

▶ 通年欠席6回で不合格、遅刻は欠席0.5回分として計算します。学期通り、サークル活動等による公欠は認めません

テキスト(教科書):

テキストは Canvas 経由で配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

教室へは必ず英和か英英の学習辞典を持参すること。もちろん予習が必須であり、授業を実力向上に結びつけるためには復習も欠かせません。

質問・相談:

履修前の質問・相談は hikaru.sakamoto@keio.jp にて受け付けます。授業開始後の質問等は、授業内での指示に従い Canvas で連絡してください。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

英語によるコミュニケーション問題の分析を読む

講座番号: 169

セット履修

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

言葉でコミュニケーションをとる時、往々にして誤解が生じます。なぜ思ったように伝わらないのか? そんなつもりではなかったのに、という、テキストのタイトルにあるようなことが生じる仕組みが、身近な事例から検討、分析されていきます。一般向けの言語学入門といった内容を、細部を疎かにせず、丹念に読み解いていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期末・秋学期末試験と平常点(出席状況及び授業時の成果)による。

テキスト(教科書):

Deborah Tannen, *That's not What I meant* (金星堂)

担当教員から履修者へのコメント:

基本的には教室での対面の授業です。十分な予習をして授業に臨んでください。読み飛ばすことなく、じっくり読んでいきます。原文の理解を確認・検討する手立てとして、和訳していく作業が中心です。

授業計画は予定ですので、進度によって変わります。(新型コロナウイルス感染防止を理由に登校しない場合には、keio.jp の【授業掲示板】への投稿によってご連絡ください(その際は、本文中には名前を書かないでください。担当教員には投稿者氏名がわかります。))

質問・相談:

教室で受け付けます。keio.jp の【授業掲示板】への投稿もできます(その際は、本文中には名前を書かないでください。担当教員には投稿者氏名がわかります。)

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

イギリスの現代劇を読む

講座番号: 170

セット履修

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代を代表する劇作家の一人、ピーター・シェーファーの『アマデウス』を読みます。天才作曲家モーツァルトと凡人作曲家サリエリとの確執から、芸術と人生をめぐる普遍的なテーマが浮かび上がってきます。映画版でも有名なこの作品が、劇場ではどのような姿を見せるのか、台本のセリフとト書きを綿密に読みながら、ドラマを感じ取ることを目指します。作品中に出てくる音楽の紹介もします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期末・秋学期末試験と平常点(出席状況及び授業時の成果)による。

テキスト(教科書):

Peter Shaffer, *Amadeus* (音羽書房鶴見書店)

担当教員から履修者へのコメント:

基本的には教室での対面の授業です。十分な予習をして授業に臨んでください。読み飛ばすことなく、じっくり読んでいきます。原文の理解を確認・検討する手立てとして、和訳していく作業が中心です。

授業計画は予定ですので、進度によって変わります。(新型コロナウイルス感染防止を理由に登校しない場合には、keio.jp の【授業掲示板】への投稿によってご連絡ください(その際は、本文中には名前を書かないでください。担当教員には投稿者氏名がわかります。))

質問・相談:

教室で受け付けます。keio.jp の「授業掲示板」への投稿もできます (その際は、本文中には名前を書かないでください。担当教員には投稿者氏名がわかります)。

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

Children's Literature and Neil Gaiman

講座番号: 171

セット履修

チータム, ドミニク

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course has two objectives, to learn about children's literature, and to read and discuss children's novels written by Neil Gaiman.

In the first semester we will read two novels by Neil Gaiman: the very short *Fortunately the Milk*, and the longer *Coraline*. In the second semester we will read *The Graveyard Book*.

For each book we will read, think, and write about the story, and use the story to help understand children's literature theory. There will be additional presentation of introductory children's literature theory.

This course is planned as an on-line, on-demand course, meaning there will not be face to face interactions. All course materials and assignments will be posted on the Keio.jp system. Students are encouraged to contact the teacher if they have any questions or problems connected with the course.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Attendance will be based on students accessing the materials in the Keio Box system. There will be frequent short written assignments and one longer written assignment at the end of the semester.

テキスト (教科書):

Fortunately the Milk, by Neil Gaiman (2013)

Coraline, by Neil Gaiman (2002)

The Graveyard Book, by Neil Gaiman (2008)

All three books for the year are available as a box set.

参考書:

There is no reference book for this class.

担当教員から履修者へのコメント:

The course has a reading base, so you can expect approximately one hour of reading or research homework each week. There will be regular assignments which will be submitted together at the end of the course. Students wanting extra feedback or advice on the assignments should e-mail the teacher. This course should provide students with good reading and analytical skills, and provide a strong base in academic writing.

質問・相談:

Students are encouraged to contact the teacher by e-mail if they have any questions or problems connected with the course.

dominic.cheetham@gmail.com

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

Children's Literature. Reading *The Lion, the Witch and the Wardrobe*, and *The Spook's Apprentice*.

講座番号: 172

セット履修

チータム, ドミニク

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course has two objectives; to learn about children's literature, and to read and discuss two children's novels: *The Lion, the Witch and the Wardrobe*, and *The Spook's Apprentice*.

For each book we will read, think, and write about the story, and use the story to help understand children's literature theory. There will be additional reading of introductory children's literature theory.

This course is planned as an on-line, on-demand course, meaning there will not be face to face interactions. All course materials and assignments will be posted on the Keio.jp system. Students are encouraged to contact

the teacher if they have any questions or problems connected with the course.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Attendance will be based on students accessing the materials in the Keio Box system. There will be frequent short written assignments and one longer written assignment at the end of the semester.

テキスト (教科書):

The Lion, the Witch and the Wardrobe, by C.S. Lewis (1950)

The Spook's Apprentice, by Joseph Delany (2004)

参考書:

There is no reference book for this class.

担当教員から履修者へのコメント:

The course has a reading base, so you can expect approximately one hour of reading or research homework each week. There will be regular assignments which will be submitted together at the end of the course. Students wanting extra feedback or advice on the assignments should e-mail the teacher. This course should provide students with good reading and analytical skills, and provide a strong base in academic writing.

質問・相談:

Students are encouraged to contact the teacher by e-mail if they have any questions or problems connected with the course.

dominic.cheetham@gmail.com

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

Modernism を読む

講座番号: 173

セット履修

辻 秀雄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

読み応えのある英語で書かれたモダニズム芸術を題材にしたテキストを講読し、大学教養レベルにふさわしい英語力を身につけることを目標とします。

以下のような事柄に重点を置いています:

- ・ 学術文章レベルの英語を理解する。
- ・ 分野 (芸術媒体) 横断的に展開された芸術運動であるモダニズムの基礎事項を学ぶ。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (出席状況、授業参加、発表、課題による評価) 50%

学期末試験の結果による評価 50%

テキスト (教科書):

Christopher Butler, *Modernism: A Very Short Introduction* (Oxford UP)

ISBN: 9780192804419

参考書:

授業内で紹介

担当教員から履修者へのコメント:

1段落ごとに担当者を決めて発表をしてもらう予定です。発表内容は、全訳 (段落のまとめ)、難しい英語表現等の解説、文化や歴史に関わる事柄の解説。履修者はレッスン範囲のテキストを読んで授業に臨み、発表に対して質問やコメントをします。

授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。5回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。

対面・オンライン併用で授業を行う予定です。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

Academic Skills: Presentations

講座番号: 174

セット履修

津田 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course aims to develop students' communication and language skills in order to plan and deliver an effective presentation in English. It provides students with the tools, experience and confidence they need to present their ideas, as well as opportunities to be an audience, focusing on

note-taking, asking for clarification, and offering appropriate questions and comments.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades will be based on:

- 1) Active Participation and Evidence of Effort
- 2) Assignments (e.g. preparation, research, reflections)
- 3) Presentations

テキスト(教科書):

Gershon, Steve. (2015) Present Yourself 2 Second Edition. Cambridge University Press.

ISBN: 978-1-107-43578-0

担当教員から履修者へのコメント:

The instructor will give

- 1) advice and suggestions on your presentations during the preparation periods; and
- 2) feedback and comments after each presentation.

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

学術書の読解力養成

講座番号: 175

セット履修

徳永 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、学術書の読解に挑戦することで、専門書や論文を読みこなすために必要な英語読解力の養成を図ります。取り上げるテーマは「色」です。私たちの日常は、さまざまな色に囲まれています。普段意識することなく色を用いていますが、それぞれの色の識別は文化圏や時代によっても異なります。授業で扱う本は、各章が特定の色(赤、オレンジ、緑、青など)をテーマとしており、豊富な具体例と巧みな文章、そして鮮やかな色彩の図版を用いて、色の諸相の探求へと読者を誘います。本書の読解を通して、美術史、歴史、書物史、文学といった分野を、これまでとはまた少し違う視点から捉える機会となるかもしれません。最初は少し難しく感じるかもしれませんが、担当教員が解説を加えます。前提知識は問いません。年間の授業を通して、精読やグループディスカッション、口頭発表(日本語・英語)などの多様な学習スタイルを取り入れます。またリスニングのトレーニング方法についても紹介します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席、予習、授業への取り組み)、試験、口頭発表、課題物の提出の総合点で評価します。

テキスト(教科書):

David Scott Kaftan, *On Color*, with Stephen Farthing (New Heaven and London: Yale University Press, 2010) -- 図書館でオンライン版が入手できるので、購入の必要はありません。

担当教員から履修者へのコメント:

- ・対面授業を軸として、一部オンデマンドによる授業を取り入れます。詳細なスケジュールは初回に配布します。
- ・予習をして授業に臨んでください。
- ・各学期、特別の理由なく4回以上欠席すると単位取得は難しくなります。事情がある場合は早めに相談してください。

質問・相談:

授業の前後、メール、事前の予約による面談で受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

これであなたも教養人! ——知的に英語を読むために

講座番号: 176

セット履修

新名 ますみ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんはこの大学に入るまでに数多くの英文を読んできたでしょう。英文法も不足なく学んできたことでしょう。ですから、もう英文を読むという行為は完成されたと思っているかも知れません。しかし、意味は十分に取れているはずの英文を「知的に読む」となったらどうでしょうか。内容を具体的に把握し、言葉遣いやリズムにも注目し、皮肉やユーモアを拾い上げ、さらに言外に示唆された主

張を読み解こうと言われたらどうでしょうか。少なからず戸惑うのではないのでしょうか。

そのようなチャレンジにふさわしいのが、イギリスの二大高級紙『タイムズ紙』と『ガーディアン紙』です。イギリス人の教養を体現していると言っても過言ではないこの二紙のコラム記事には、多岐にわたる題材、豊かな表現、鋭い洞察が展開されています。「ワクチン開発ってこんなに大変」「VRで恐怖症克服1?」などなどタイムリーで興味をそそられる記事を読みながら、英語のみならず文化や考え方を学び、知的世界に足を踏み入れていきましょう。

授業は、オンデマンドで動画を視聴してもらう形で行います。あらかじめ提示された事前課題を提出した上で受講してください。事前課題では、指定された箇所の和訳と質問、及び前週の復習問題が出題されます。この課題には英文を精読するための熟考や個性が求められるので、時間をかけて取り組めるようにしてください。なお、出欠の確認は、授業後に自己採点を含めたアンケートを提出してもらうことで行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席、課題の点数、授業後アンケート内容)などから評価する。

テキスト(教科書):

田中孝信他編著『「タイムズ」と「ガーディアン」でめぐる知の世界』田中孝信他編著 鶴見書店 2016年 ISBN:978-4-7553-0375-3

担当教員から履修者へのコメント:

テキストの英文を予習として全員に英訳してきてもらいます。綿密な英文和訳の作業や精読に興味がない学生には不向きな授業と承知してください。

試験結果や成績の詳細については、授業内のメッセージから個別にお知らせします。

質問・相談:

下記のメールアドレスまで連絡してください。

m-niina@keio.jp

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

Intermediate Ethical Issues for Discussion

講座番号: 177

セット履修

ピアソン・ウメツ, ナンシー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The main objective of this course is to help you improve your English reading and communication skills. We will examine current issues from an ethical perspective: in the spring semester, we will look at human rights; in the fall semester, topics will include poverty, medicine and the environment. You will be expected to research and present case studies each semester, and to prepare outside readings for each topic that we discuss. During summer vacation, you will follow a current event topic and present it to the class in the fall.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Your grade will be based on class attendance, class participation, written homework, tests, and case study presentations. All classes will be conducted in English only.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this course. All materials will be handed out in class or available for download at the keio.jp website.

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to come to class prepared for class discussions. I also expect you to conduct all discussions in class IN ENGLISH. I look forward to teaching students who are interested in the topics we will be discussing.

質問・相談:

Students can contact the instructor via email or before or after class.

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

Reading and Communication Skills, Upper Intermediate Level

講座番号: 178

セット履修

ピアソン・ウメツ, ナンシー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The goal of this course is to help you improve practical reading, listening and communication skills. We will explore current issues such as psychology, corporate social responsibility (CSR), advertising, etc. Students will do outside research on each topic, learn related vocabulary, listen to audio interviews, and discuss the issues in small groups. There will be outside reading homework for each topic. An exam will be given after each unit. You will be doing presentations for some of the units.

All the work on the Q classroom online site is also required.

During summer vacation, you will follow a current event topic and present it to the class in the fall.

We will complete a unit approximately every 2-3 weeks.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Your grade will be based on attendance, class participation, written homework, presentations, and tests.

テキスト(教科書):

Q: Skills for Success 4 Listening and Speaking*, 3rd edition (Oxford University Press)

(*Important: I recommend that you buy the paper copy of the book. The class codes for the online site for the e-book must be purchased separately, and some students had problems doing this last year. The paper book comes with the codes.)

All other materials will be available for download at the keio.jp website.

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to students who are excited about these topics and about improving their language skills.

質問・相談:

Students can contact the instructor via email or before or after class.

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

中世アイルランドの「神話」とファンタジー

講座番号: 179

セット履修

辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、中世アイルランド語で書かれた「起源神話」*Lebor Gabála Éirenn*を、現代英語でファンタジー仕立てに再話した作品を読みます。ケルト語神話・伝承についての入門的な性格を持った授業になります。

秋学期には、*Lebor Gabála Éirenn*を読み終わり、それを踏まえて、学問的な論考も読めます。専門課程で必要とされる学術的な文献読解力へとつなげることを目的とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、春・秋期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

配布される教材・資料などすべては、厳密に授業の目的の使用にのみ限定されます。

質問・相談:

随時受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

J.R.R. Tolkien の *The Lord of the Rings* に関する論考を読む

講座番号: 180

セット履修

辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、J. R. R. Tolkien の *The Lord of the Rings* と、ピーター・ジャクソン監督による映画化作品に関する論考を読みます。論考の中で議論の対象となっている映画シーンをDVDで確認しながら、必要に応じて原作や映画スクリプト、関連文献なども読めます。

秋学期は、"dwarf", "elf", "fairy", "hobbit"などのキーワードを中心に、Tolkienの言語世界をより広い視野から論じた論考 *The Ring of Words* を読めます。Tolkienの物語世界への理解を深めるとともに、論文の論旨を適確に把握し、専門課程で必要とされる文献読解能力を養成します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、春・秋期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書:

文庫 新版『指輪物語』全10巻 J. R. R. トールキン著、瀬田貞二・田中明子訳 評論社

その他、授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

論文の理解に必須ですので、原作 *The Lord of the Rings* (翻訳『指輪物語』で構わない) を読み、かつ映画(DVD/BD)を見ておくことを強く奨励します。

また、授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

質問・相談:

随時受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

Advanced Intermediate Reading Comprehension

講座番号: 181

セット履修

ボーク, ギャリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This is a one-year advanced English reading course designed to help students take their reading comprehension skills to the next level. Together with class-based tasks, this course requires students to read daily online reading tasks as a way to improve their working knowledge of English vocabulary and grammar.

Each class will be based on inter-cultural topics raised in chapters from the book *Bend it like Beckham* by Narinder Dhami. These topics include gender in sports, identity, and intercultural marriage. Following group discussions, students will write reviews on each section.

All students need to check the Keio.jp 授業支援 to receive worksheets and other course information.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students must complete all online reading tasks to receive a final grade.

Students will also receive evaluation grades on their class participation, submitted written reports, mid-semester task, and end-of-semester task.

テキスト(教科書):

Dhami, N. (2002). *Bend It Like Beckham*. Hodder & Stoughton. ISBN: 978-0340860946

担当教員から履修者へのコメント:

Students will receive weekly feedback on their online reading tasks. Submitted written work will be checked for spelling, grammar and content. Students will be expected to review all comments and resubmit work by the deadline for grading.

I look forward to teaching students who are motivated and have the desire to learn.

英語Ⅰ 中級発展 1 単位(春学期)

英語Ⅱ 中級発展 1 単位(秋学期)

Introduction to Psychology

講座番号: 182

セット履修

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this class is to help students improve their ability to communicate naturally in English. The theme of this class is psychology and the goal is to give students a comprehensive introduction to the subject. Although there is no textbook in this class, students will be given extensive readings, from source material (such as Kendell, Szasz, Freud, Jung, Rogers, Beck, among others), and will be expected to devote time to understanding these historically important texts. In addition to these readings, extensive use of documentary films will help students gain a solid understanding of both the theoretical underpinnings of and the practical side of psychotherapy. In the spring semester, students will learn about the major classes of mental illness and, in the autumn semester, they will learn about influential theories of mental health and therapy.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

There will be continuous evaluation of a student's performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, timely completion of all homework assignments, and final reports.

テキスト(教科書):

There is no textbook in this class. The instructor will provide source readings and worksheets, as well as relevant websites, for each lesson.

参考書:

Royal College of Psychiatry (www.repspsych.ac.uk)

American Psychiatric Association (www.psychiatryonline.com)

担当教員から履修者へのコメント:

Instructor's Expectations: Regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments, and active participation in class (using English at all times). No previous knowledge of psychology is required in this class. Students can expect feedback on assignments, classroom activities, and questions they have from the instructor. This course will help students improve their English reading skills, and will provide them with a firm foundation for understanding psychology.

質問・相談:

When students have questions, they can ask me before, during, or after class, or via email.

英語Ⅰ 中級発展 1 単位(春学期)

英語Ⅱ 中級発展 1 単位(秋学期)

食卓テーブルから学問の世界へ!

講座番号: 183

セット履修

若澤 佑典

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

「今日のランチは何にしようかな...」そんなことを考えながら、朝、学校や職場に向かう方も多いでしょう。食べるという行為は、日常生活の大切な一コマです。さらに、食は個々の社会や文化、あるいは私たち一人一人を映す鏡でもあります。何を・誰と・どこで・どうやって食べるのか? これらを考えることで、歴史や地理、さらには壮大かつ愉快な「ことば」の世界が開けてくるでしょう。

この授業では、食に関わる英文テキストを介して、みなさんの日常生活と文学部の研究世界(歴史・文学・哲学・社会科学など)をつなげてみます。メイン・テキストとして、Julian Baggini, *The Virtues of the Table: How to Eat and Think*(2014)を用います。哲学者によって書かれた本ですが、ダイエットやレシピをめぐる考察など、哲学についてまったく知らない人でも十分楽しめる内容です。また、履修者のみなさんの興味関心にあわせて、英語の料理番組や食紀行、外国語で書かれたレストランの紹介文やメニューなども、サブ教材として活用します。

大学の授業では文章の内容を理解するだけでなく、「ここ気になるな」とか「過去に読んだ/体験したあのことと関係するかな」など、あれこれ考えながらテキストに回答していくこと、文書に対する自分なりの「ツッコミ」をみんなと共有していくことがキーとなります。こうしたやり方を教員と学生で一緒になってやってみる、その楽しさを英文解釈を通じて「味わってみる」のが本授業の目標です。リーディング主体のクラスですが、みんなでワイワイ話すこと、知や体験を共有することに重点を置きます。五感をフルに使って、英語を学んでいきましょう!

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

毎週の課題提出、授業内でのレスポンス 100%

テキスト(教科書):

Baggini, Julian. (2014). *The Virtues of the Table: How to Eat and Think*. Granta

ISBN 9781847087157

参考書:

・『にっぽん洋食物語大全』小菅桂子著 ちくま文庫 2017年

ISBN 978-4-480-43465-4

・『コーヒーが廻り、世界史が廻る: 近代市民社会の黒い血液』臼井隆一郎著 中公新書 1992年 ISBN 978-4-12-101095-7

・『中国くいしんぼう辞典』崔岱遠著、李楊樺画、川浩二訳 みすず書房 2019年 ISBN 978-4-622-08827-1

・『モチーフで読む美術史』宮下規久朗著 ちくま文庫 2013年 ISBN 978-4-480-43076-2

・『レイクエム: ある幻覚』アントニオ・タブッキ著、鈴木昭裕訳

白水Uブックス 1999年 ISBN 978-4-560-07130-4

担当教員から履修者へのコメント:

・2021年現在、依然として感染症は猛威を振るっており、私たちは特殊な状況下で英語を学んでいくことになります。一番重要なのは、みなさん一人一人の「健康」と「不安がない日常生活」の確保です。無理をせず、何か心配なことや困ったことがあれば、一緒に相談して解決策を見つけていきましょう。

・「今週どうだった?」というような日々の会話から、毎週の授業を始めていこうと思っています。大学では日々の生活が断片化・孤立化しやすいですが、語学の場合は「ホッと一息つける」ような時間になるよう、みなさんと授業を一緒につくっていきます。半学半教のクラスです。

質問・相談:

・双方向的なやり取りを重視したクラスですので、思ったこと感じたことを、ぜひドシドシ授業で話してください。「あれ、これ関係ないかもしれないけど、言わないほうがいいかな」と思うことが、実は大事だったりします。なるべく教員とコミュニケーションが取れる時間を、授業内で作ります。

・「もっと、ここについて知りたい/考えたい」とか「みんなの前では恥ずかしいのだけど、ちょっとこの点を掘り下げたい/聞いてみたい」といったことがあれば、オフィスアワーや授業前後の時間に面談機会を設けますのでお気軽にどうぞ。個人で相談にいらして下さっても、あるいは何人かでいらっしゃっても構いません。

・メール連絡先を初回授業開始前に(keio.jpを使用)お伝えします。

【上級】

英語Ⅰ 上級 1 単位(春学期)

英語Ⅱ 上級 1 単位(秋学期)

Introduction to Intercultural Communication: Theory & Applications

講座番号: 191

セット履修

コミサロフ, アダム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this course will be to improve students' speaking, listening, reading, and writing skills, with the emphasis being primarily upon spoken communication. This will be achieved through group discussions, student presentations, simulations, and interactive lectures that address topics related to current issues in intercultural communication. The goal is not only to improve students' linguistic fluency, but also to improve their

ability to successfully communicate through understanding the communication styles (both nonverbal and verbal), modes of perception, and values of people from around the world (including Japan!).

Students will be expected to grasp the basic concepts in the field of intercultural communication and apply them to actual cases of intercultural friction. However, when students have trouble understanding the reading material or the lectures, they will be given appropriate language support in order to complete the assignments. In other words, the teacher will structure the course so that the pace of learning can be modified according to student needs.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students' grades will be based on (1) participation in class work and attendance, (2) homework completion rates, and (3) performances on tests and oral presentations.

テキスト(教科書):

Sakamoto, Nancy & Naotsuka, Reiko. (1982). *Polite Fictions*. Kinseido. ISBN: 978-4764703964.

As this book is short, we will complete it quickly, and the teacher will then distribute many extra reading materials to supplement the textbook that are more challenging. The teacher will provide these extra materials at no cost to the students. Such materials will be drawn from a wide range of sources, including newspaper articles (e.g., from the New York Times), magazines (e.g., Time magazine), and intercultural communication textbooks used for university students abroad. The underlying theme running throughout the reading assignments will be the pursuit of international understanding.

参考書:

Students may buy *Intercultural Communication Workbook* by Kyoko Yashiro, et al.

(『異文化コミュニケーションワークブック』). Sanshuusha. ISBN: 978-4384018516.

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to attend class regularly (no more than three absences are permitted), participate in all activities, and to complete readings before each lesson that will prepare them for group discussions. Students who can fulfill these expectations are encouraged to enroll for this course.

質問・相談:

Students are encouraged to see me if they have any questions or concerns. We can talk on the day of our class, and if we need to discuss the matter further, we can easily set up an appointment to communicate further. All students who register will be given my email address in class.

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

The Benefits and Risks of Globalization: The Narrative of the Transcultural Hero

講座番号: 192

セット履修

コミサロフ, アダム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Globalization is a multi-pronged process with broad impact. For instance, the movement of human resources across national boundaries has resulted in unprecedented levels of worldwide intercultural contact and the transformation of individual lives and cultural identities of those who have chosen to live abroad. Namely, choosing a life abroad promises both great challenges and rewards for those willing to brave such change.

In this course, students will explore the benefits and risks of a transnational life by examining literature, both scholarly and popular, which features narratives of transcultural heroes or tragic figures. Students will learn theories and models related to intercultural communication and acculturation which give them a new lens through which to interpret and appreciate such literature. In the process, students will improve their reading and presentation skills. They will also be required to read various texts and lead a class discussion about one reading which they choose. The instructor will supplement presentations with relevant concepts from the fields of intercultural communication and acculturation psychology.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students' grades will be based on (1) participation in class work and attendance, (2) homework completion rates (homework is given weekly), and (3) performances on oral presentations.

テキスト(教科書):

Komisarof, Adam. (2012). *At Home Abroad: The Contemporary Western Experience in Japan*. Reitaku University Press. ISBN: 978-4892056161.

The teacher will also provide extra reading materials at no cost to the students.

参考書:

Editors: Adam Komisarof and Zhu Hua. (2016). *Crossing Boundaries and Weaving Intercultural Work, Life, and Scholarship in Globalizing Universities*. Routledge.

J. K. Rowling. *Harry Potter and the Philosopher's Stone*.

Mircea Eliade. *Two Strange Tales*.

Yoshiko Uchida. *Desert Exile: The Uprooting of a Japanese-American Family*.

C.S. Lewis. *The Lion, the Witch, and the Wardrobe*.

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to attend class regularly (no more than three absences are permitted), to participate in all activities, and to complete readings before each lesson that will prepare them for group discussions. Students who can fulfill these expectations are encouraged to enroll for this course.

質問・相談:

Students are encouraged to see me if they have any questions or concerns. We can talk on the day of our class, and if we need to discuss the matter further, we can easily set up an appointment. All students who register will be given my email address in class.

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

Agatha Christie's Detective Stories

講座番号: 193

セット履修

タイ, ワンチェン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Spring Term:

The course uses detective fictions by Agatha Christie to improve students' reading ability in English. In the spring semester, the class is going to read one of Christie's detective dramas, *The Mousetrap*.

All of the interactions in this course will take place online (via Zoom), and if students have any difficulties - technically or physically - please get in touch with the instructor, so that we can sort out the best way for you to participate.

In the spring semester, students' individual tasks involve 2 vocabulary quizzes, a weekly reading assignment and weekly comprehension worksheets. All of the tasks will be carried out online: vocabulary quizzes, comprehension worksheets for the drama are available to download on keio.jp, and they also have to be submitted through keio.jp.

There is a group task for students to work together: reading aloud part of the drama. Students will be divided into groups, and each group will choose a scene/section to read aloud and record their audio performance. The performance is graded by each performer's understanding of the story and characters, by the clarity of their speech, and by the presentation of the performance.

Autumn Term:

The reading material for the autumn semester is Agatha Christie's novel, *Curtain*. We are going to do the following activities in the class: reading the novel, watching its TV adaptation (by students themselves), and a final presentation.

There will be reading assignment every week. Students need to download a handout from keio.jp to answer questions regarding expression and

comprehension and submit it online. Some chapters of the novel will be covered by watching a TV adaptation.

There is a final audio presentation in the autumn semester. The class will be given a month to prepare for the final presentation, and the day of final presentation is on the last class of the semester. For the project, each group is required to write their own script based on one of the cases mentioned in the novel. Each group will also need to create a audio recording based on their own drama.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Spring Semester

Quizzes 15%

Comprehension worksheets 20%

Group Task: 15%

Autumn Semester

Participation and Attendance 10%

Final Presentation 20%

Weekly Comprehension check 20%

テキスト(教科書):

Photocopies of the drama will be provided at the beginning of each term. The script of the drama (PDF) is available on keio.jp.

Students will have to either get a hardcopy of *Curtain* in the bookstore on Hiyoshi campus at the beginning of the semester or read a digital version of the book (PDF file will be provided).

担当教員から履修者へのコメント:

Other requirements:

1. Students who miss 3 classes in a semester will fail the course.
2. Students who turn up 10 minutes after a class (online or on-site) begins will be considered late.
3. Arrival/appearance later than 30 minutes after a class begins is treated as an absence.
5. For absences due to medical reasons, the student needs to contact the instructor through email and supply medical documentation later.

質問・相談:

Students may contact the instructor at wanchentai@a5.keio.jp.

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

Readings in American Gothic Fiction

講座番号: 194

セット履修

バナード, ピーター

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this class, we will explore the landscape of weird, fantastic, and horror fiction in America from the early 1900s to the present day. Reading a selection of short stories showcasing a wide diversity in terms of historical context, authorial background, and thematic approach, students in this course will gain a basic understanding of the literary history of American Gothic fiction.

At the same time, this course will strive to move beyond literary history toward deeper thematic concerns. This class will be conducted in a seminar style, and class time will be devoted to considering the following sorts of questions: What does "American" mean in these stories of horror and the supernatural? What does "Gothic" mean in the context of America, as opposed to the British Isles or even Japan? In other words, what makes "America," in particular, scary? Using the texts as our starting point, we will discuss these issues and more during our class meetings, and students will be asked to complete a series of written exercises engaging with such themes throughout the course.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades will be calculated as follows:

80% Weekly homework assignments, which respond in some way to that week's readings.

20% Take-home final writing assignments.

テキスト(教科書):

All reading assignments will be distributed by the instructor in class.

参考書:

Students are required to have access to a good English dictionary.

担当教員から履修者へのコメント:

This course will be conducted entirely in English.

Students will be expected to complete the assigned reading thoroughly and submit a written response to that reading each week.

質問・相談:

Students can contact me via email (to be distributed on the first day of class); students are also welcome to schedule office hours to discuss assignments and other course-related matters.

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

Advanced Ethical Issues for Discussion

講座番号: 195

セット履修

ピアソン・ウメツ, ナンシー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The main objective of this course is to help you improve your already advanced English reading and communication skills. We will examine current issues from an ethical perspective: in the spring semester, we will look at human rights; in the fall semester, topics will include poverty, medicine and the environment. You will be expected to research and present case studies each semester and to prepare outside readings for each topic that we discuss. You will also be required to read two books in English during the year (your choice) and write book summaries. During summer vacation, you will follow a current event topic and present it to the class in the fall.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Your grade will be based on class attendance, class participation, written homework, book reports, case study presentations, and tests. All classes will be conducted in English only.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this course. All materials will be handed out in class or available for download at the keio.jp website. You will need to choose two books in English to read during the year. I will explain more about this in the first class.

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to teaching students who are motivated and interested in the topics we will be discussing.

質問・相談:

Students can contact the instructor via email or before or after class.

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

Advanced Reading Comprehension

講座番号: 196

セット履修

ボーク, ギャリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This is a one-year advanced English reading course designed to help students take their reading comprehension skills to the next level. This course requires students to read English daily to improve their working knowledge of vocabulary and grammar.

Each class will begin with a short reading practice before reading a selection of articles taken from the book *The Art of Thinking Clearly: Better Thinking, Better Decisions* by Rolf Dobelli. Following a short group discussion, students will then write short reviews utilizing target vocabulary.

All students need to check the Keio.jp 授業支援 to receive worksheets and other course information.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students must complete all online reading tasks to receive a final grade.

Students will also receive evaluation grades on their class participation, submitted written reports, mid-semester and end-of-semester task.

テキスト(教科書):

Dobelli, Rolf. (2013). *The Art of Thinking Clearly*. Harper International. ISBN: 978-0-06-234396-3

担当教員から履修者へのコメント:

Students will receive weekly feedback on their online reading tasks. Submitted written work will be checked for spelling, grammar and content. Students will be expected to review all comments and resubmit work by the deadline for grading.

I look forward to teaching students who are motivated and have the desire to learn.

【最上級】

英語 I 最上級 1 単位(春学期)

英語 II 最上級 1 単位(秋学期)

Close Reading of Literary Works

講座番号: 201

セット履修

タイ, ワンチェン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course seeks to develop students' ability to do close-reading of literary texts (essays and short stories), to understand and interpret narratives, and to discuss relevant issues. This year the course is to cover the following topics: pandemic, gender, femininity, masculinity, home, identity, diaspora and food, and education. We are to read works written by modern and contemporary authors, such as George Orwell, Virginia Woolf, Salman Rushdie, Amy Tan, Kazuo Ishiguro, etc. (For titles, see online syllabus.)

Students are responsible for reading an assigned text and completing a corresponding comprehension worksheet every week. Additionally, each student needs to do one presentation on a chosen text (among the class materials) in each term.

All of the interactions in this semester will take place online, and if students have any difficulties - technically or physically - please get in touch with the instructor, so that we can sort out the best way for you to participate.

Both the essays and their corresponding comprehension worksheets are available for download on keio.jp. Comprehension worksheets have to be completed and submitted before every class.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Comprehension worksheets 50%

Presentation 40%

Participation 10%

テキスト(教科書):

Class Materials are available for download on keio.jp.

担当教員から履修者へのコメント:

1. A student who misses 3 classes in a semester will fail in the course.

2. A student who turns up 15 minutes after a class (online or on-site) begins is considered late. Appearance later than 30 minutes after the class starts is treated as an absence.

3. For absence due to medical reasons or other inevitable reasons, please inform the instructor through email.

質問・相談:

Students may contact the instructor at wanchentai@a5.keio.jp.

必修としない英語

(希望者のみ総合教育科目(系列外)として履修)

「英語インテンシブ I A / 英語インテンシブ II A,
英語インテンシブ I B / 英語インテンシブ II B」(各1単位)

必修の英語だけではなく、英語をさらに学びたい人のための科目です。コミュニケーション能力の向上に特化したクラスもあります。ぜひ活用してください。なお対象は、プレイスメントテストの判定が中級・中級発展レベルの人です。

【セット科目】は、春・秋学期を通じて履修してください。なお、初回でクラスのサイズ調整のために受講生の選考が行われる場合があります。

英語インテンシブ I A 1 単位(春学期)

英語インテンシブ II A 1 単位(秋学期)

Communicating Across Cultures: Japan and the World

セット履修

コミサロフ, アダム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Students will improve their skills and confidence in speaking, listening, and presentation skills that are necessary in today's global world. They will improve their ability to navigate communication in a variety of contexts, including work, daily survival while studying or traveling abroad, and other types of intercultural contact. They will also build a foundation for understanding and applying basic principles in the field of intercultural communication to improve their communicative competence, especially with foreign people.

Students will have opportunities to develop their communication skills by participating in a variety of interactive activities with the instructor and each other. All students will be expected to attend regularly, complete homework, and participate in all classroom tasks, especially speeches in front of the class, as well as role plays, pair work, and group discussions with classmates.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students' grades will be based on (1) participation in class work and attendance, (2) homework completion rates (homework is given weekly), and (3) performance on tests and oral presentations.

テキスト(教科書):

八代京子他著(2001)『異文化コミュニケーションワークブック』。三修社。ISBN: 978-4384018516.

The teacher will also provide extra printed materials at no cost to the students.

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to attend class regularly (no more than three absences are permitted), to participate in all activities, and to complete all of their homework before each lesson. Students who can fulfill these expectations are encouraged to enroll for this course.

質問・相談:

Students are encouraged to see me if they have any questions or concerns. We can talk on the day of our class, and if we need to discuss the matter further, we can easily set up an appointment. All students who register will be given my email address in class.

英語インテンシブ I A 1 単位(春学期)

英語インテンシブ II A 1 単位(秋学期)

Photography Studies

セット履修

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this class is to help students improve their ability to communicate naturally in English. As this is an intensive English class, students can expect to be speaking English extensively in class each week. The theme of this class is, broadly speaking, photography and the goal is to examine the subject comprehensively. Students will learn about the history of photography and will research about its aesthetic, moral, and psychological influence on modern society. All societies we call

“modern” have to be understood in terms of interchanges between reality and the image, and the most successful and influential system of images in all history is that provided by the camera. Classroom discussions and homework assignments (taking photographs) will focus on helping students develop a deeper understanding about the relation of photography to art, to conscience, to self, and to knowledge. One photographic theme will be covered each week and classroom discussions will revolve around students’ work. Active and enthusiastic participation and regular attendance in this class are essential, and are guaranteed to help students become better speakers of English.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

There will be continuous evaluation of a student’s performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, and timely completion of all homework assignments.

テキスト(教科書):

While the instructor will provide readings and worksheets, as well as relevant websites, for each lesson, students will be expected to bring in research material (photographs) each week.

担当教員から履修者へのコメント:

Instructor’s Expectations: Regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments, and active participation in class (using English at all times). Students can expect feedback on assignments, classroom activities, and questions they have. The main goal of this course is to help students improve their English speaking ability and, with their individual commitment, they can fully expect to be better English speakers by the end of the course.

質問・相談:

When students have questions, they can ask me before, during, or after class, or via email.

英語インテンシブ I B 1 単位(春学期)

英語インテンシブ II B 1 単位(秋学期)

Speaking and Thinking through Philosophy

セット履修

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course offers students an opportunity to practice expressing their opinions using logical reasoning and to improve their critical-thinking skills through discussions on contemporary issues and the “big questions” in life. Students are not expected to have any background knowledge in philosophy. Students will also learn some of the latest research in psychology and neuroscience—how the brain works. The spring term will focus on human nature and the human condition; the universe and reality; and ethics and morality. The autumn term will focus on the human mind, consciousness, and intelligence; society and government; and science and technology.

This class uses a cooperative learning approach, which gives students maximum speaking and listening practice in small group discussions. Each week, students will receive listening and/or reading materials to prepare for class discussions. Writing skills include paragraph structure (spring) and a final researched essay (autumn). Student are expected to keep a journal in English throughout the course. Students will also learn effective public speaking skills through individual presentations (spring) and Oxford-style debates (autumn).

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Contributions to class discussion: 40%; writing assignments: 20%; presentations 20%; quizzes: 10%; homework: 10%.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this course. The teacher will provide students with worksheets and handouts for reading and listening.

参考書:

The Stanford Encyclopedia of Philosophy

<https://plato.stanford.edu>

Philosophy Crash Course: <https://www.youtube.com/watch?v=BNYJQaZUDrI&list=PL8dPuualLjXtNgK6MZudYldNkMybYIHKR>

担当教員から履修者へのコメント:

Materials needed: A notebook for journal writing, vocabulary cards

Homework: Each week, students will receive listening and/or reading materials to prepare for class discussions. Students should spend 10 minutes each day free writing in their journals. In addition, students will work on several formal writing assignments and speeches. Written feedback will be given for all assignments.

質問・相談:

I will be available for questions and consultation during synchronous online class times or by appointment arranged by email. Please check your Keio.jp class support account for this course to get instructions, assignments and online meeting times and links.

英語インテンシブ I B 1 単位(春学期)

英語インテンシブ II B 1 単位(秋学期)

Soft Skills and Goal Setting

セット履修

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this course is to develop students’ speaking, listening, reading and writing skills as well as other communication skills and strategies needed in various situations. Vocabulary building is an important component of this course. Review and vocabulary quizzes will be given. Some pronunciation exercises will be done. Students will deliver one presentation each term.

The class will be conducted online “on demand” for class preparation with “synchronous” sessions for speaking. Students will work together in small groups for discussion and problem-solving and create videos as part of the speaking component of the course. Real-life listening exercises will give students an opportunity to improve their listening skills. Students will read various essays and submit reflection papers and paragraphs. Students will gain confidence speaking in front of small groups and giving presentations.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students will be evaluated on the following criteria: participation (30%); presentations (30%); speaking and writing assignments (30%); and quizzes focusing on key vocabulary and concepts introduced in the previous class (10%). Class attendance is very important.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this course. The teacher will provide students with worksheets and handouts for reading and listening.

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to prepare for class by doing the reading and vocabulary homework. They should have note-taking materials, a dictionary, and one set of vocabulary cards to each class session. Students who attend online classes and are eager to speak English will do well in this course.

質問・相談:

I will be available for questions and consultation during synchronous online class times or by appointment arranged by email. Please check your Keio.jp class support account for this course to get instructions, assignments and online meeting times and links.

ドイツ語

文学部でドイツ語を履修する学生は、週3回（うち、1回はドイツ人）の授業を受けることになります。文法、訳読、作文、会話を通じて、発音から接続法までドイツ語の基礎はひととおり終了することになります。ひととおりとはいっても、ここで得た知識を活用することに慣れれば、2年次以降、小説を読むにしても、独作文をするにしてもそれほど苦勞はしないはずです。すでに高等学校その他でドイツ語を勉強してきた学生のためには、中級、上級のクラスが設置されています。最近よく「使える外国語」という言葉を耳にいたします。なにをもって「使える」というのか議論の分かれるところですが、従来行われてきた訳読中心の授業に対する批判がこめられていると考えてよいでしょう。つまり発信型の外国語が求められているのです。そうした要望に答えるため、文学部では、必修科目としてのドイツ人の授業の他、誰でもが自由に履修できるドイツ語会話の授業が2コマ設置されています。しかし発信のためだけの外国語であっても困るのです。大学での外国語は、まず文学や哲学、あるいは歴史を研究する際の手段であることが求められています。私たちとしてはドイツ語に限らず、外国語を通じて皆さんに豊かな教養を積んでいただきたいと思うのです。「教養」を口にするのは相当に照れくさい。フンボルトやゲーテの名前をもち出して人格形成を訴えることに恥じらいを覚えます。しかし、それなくして何のための大学かと思います。ドイツではすでに19世紀半ば、ブンゼンやラウマー等が高等学校での詰め込み式授業の弊害を訴えておりました。ゲーテもまたエッカーマンとの対話のなかで、早期の高度な専門教育が若者から人間形成のエネルギーを奪っている点を指摘しています。受験競争のため、皆さんにはこれまで小説など受験科目以外の読書に費やす時間の余裕はなかったことでしょう。それをいま、感受性の強い学生時代に果たしていただきたいと思うのです。「教養」という言葉も曖昧な使われ方をしていますが、ひとつ言えることは、物知りであることよりも正しい判断の下せることが大切でしょう。これに文学や哲学の知識をベースとして美術や音楽の鑑賞力が加われば申し分ありません。そのためには、日本語に頼るだけでは足りません。外国語による幅広い教養が求められていると思うのです。私たち教員サイドも様々な創意工夫を重ねる必要があります。同時に、皆さんの積極的な授業への参加が期待されます。

参 考 書：平尾・中島他著『初心者のためのトレーニング・ドイツ語』（白水社）

和山謙三郎著『独検4級・3級ドイツ語入門』（朝日出版）

独和辞典：アポロン独和（同学社）、クラウン独和（三省堂）

新アルファ独和（三修社）、マイスター独和（大修館）

ドイツ語Ⅰ／ドイツ語Ⅱ

ドイツ語Ⅰ 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅱ 1単位(秋学期)

ドイツ語の基礎を学ぶ

斎藤 太郎
アインス、 ヴィーラント
大淵 知直
奥山 美德
糸川 麻里生
香田 芳樹
佐藤 - プリンツ、 マヌエラ
シュミット、 ウーテ
滝藤 早苗
田中 愼
津崎 正行
平田 栄一郎
ブッヘンベルグ、 ステファン
ベッカー、 アンドレアス

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

まったくの初心者がドイツ語の基礎を学ぶための授業で、春学期、秋学期とも日本人教員による授業週2回と、ドイツ語を母語とする教員の授業週1回の計3回から構成されています。

日本人による週2回の授業は、2名の教員が共通の教科書を使ってリレー方式で進めます。一年間を通じて基本的な文法事項を学びながら、おもに読解と作文の基礎を身につけてもらうことを目標とします。

ネイティブ・スピーカーによる週1回の授業では、具体的な発話状況を想定しながら、主としてスピーキングとリスニングの力を養成

します。つまり、週3回の授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

学期毎に数回行われる授業内試験および小テストを中心に評価しますが、授業内の課題への取り組みや宿題も適宜評価の材料とします。

テキスト(教科書)：

それぞれの教員によって異なるので、学期当初に教科書販売所で確認してください。

参考書：

授業内で適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

外国語の学習に近道はありません。毎回の授業に必ず出席し、新しい知識を着実に身につけることが何より大切です。

ドイツ語は英語に比べると初級段階で覚えるべき文法規則が多いのですが、それらの諸規則は非常に整合的に構築されています。したがって、ひとつひとつ項目をきちんと理解し学習するよう努めれば、非常に明快に理解できるようになりますが、ちょっと気を抜いて分からない箇所をそのままにしておくとなんとなく五里霧中の状態に陥ってしまいます。そうならぬよう、「継続は力なり」を肝に銘じてください。

質問・相談：

授業の前後などに適宜受け付けます。オンライン授業ではメッセージ機能や授業内掲示板を使つての質疑応答も可能です。

ドイツ語 I 中級／ドイツ語 II 中級

ドイツ語 I 中級 1 単位(春学期)

ドイツ語 II 中級 1 単位(秋学期)

Aktiv Deutsch lernen

セット履修

クリーク, ブリギッテ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Dieser Kurs findet online mit Zoom bzw. on-demand statt.

Hier koennen Sie Ihre Deutsch-Kenntnisse anwenden und weiter vertiefen. Sie haben viele Moeglichkeiten, Deutsch zu ueben. Sie brauchen jedesmal Ihr Woerterbuch. Aktive Mitarbeit ist notwendig.

Unterrichtssprache ist ueberwiegend einfaches Deutsch. Wir benutzen ein deutsches Lehrbuch "Menschen A1,2".

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Hausaufgaben, Mitarbeit, Pruefungen

テキスト(教科書):

S.Evans, A.Pude, F.Specht. (2012). Menschen Kursbuch A1,2 Hueber ISBN 978-3-19-501901-9

参考書:

中島、平尾、朝倉 (1985) 必携ドイツ文法総まとめ、白水社、ISBN 4-560-00433-1

担当教員から履修者へのコメント:

Aktive Mitarbeit und regelmaessiges Lernen ist notwendig.

ドイツ語 I 中級 1 単位(春学期)

ドイツ語 II 中級 1 単位(秋学期)

ドイツ語の基礎を学習した方向けに、1年間でドイツ語の文法の基礎へ応用まで学習します。基本的な文法から丁寧に確認を行い、ドイツ語の学習内容に不安がある方も安心して受講できるようにします。

セット履修

栗田 くり菜

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

【内容】

- ・ドイツ語の基礎 (あいさつや動詞の人称変化) から丁寧に学んでいきます。

- ・基本的に毎回の授業は、スクリプトを読む→新しい文法事項の解説→練習問題を解く→会話練習、というサイクルで進みます。

- ・例年履修人数も多くないので、発音練習も丁寧にいきます。ドイツ語の発音をマスターしましょう。

- ・すでにドイツ語を学んだ方が多いと思うので、状況を見ながら基本的な部分については早めのスピードで進む予定です。

【方法】

- ・教科書のLektionごとに文法解説・練習問題、会話練習を行います。

- ・ペアワークや発表学習も行います。

- ・適宜、補足プリントや映像資料、音楽なども使用します。

【到達目標】

- ・基本的な日常表現からスタートし、「読む・書く・聞く・話す」総合的なドイツ語能力の育成を目指します。

- ・ドイツの社会、文化、経済、歴史などに関する多層的な知識の獲得を目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

毎回の授業におけるリアクションシート、発表学習、試験を総合的に勘案します。

テキスト(教科書):

『シュトラッセ・ノイ Ver.3.0』

朝日出版社、新野守広/浜崎桂子/Gesine Goessner/大村幸太/野端聡美/杉山香織

2,640円(本体2,400円+税)

ISBN: 978-4-255-25405-0

参考書:

独和辞典 (特に指定はしませんが、必ず購入してください)

担当教員から履修者へのコメント:

楽しく進めたいと思いますが、そのためには皆さんの予習が必要不可欠です。グループワークや発表学習なども予定しています。積極的な授業参加を期待します。また、毎回必ず辞書を持ってくることをお願いします。

質問・相談:

毎回の授業前後、及びメールで。お気軽に質問ください。

ドイツ語 I 中級 1 単位(春学期)

ドイツ語 II 中級 1 単位(秋学期)

ドイツ語 I / II 中級 (B)

セット履修

山田 史子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、一通り基礎文法を学習した学生を対象にしています。初級ドイツ語文法を復習して確実なものにし、語彙を増やすことが目標です。身の回りの物や行動や自分の意見などを会話及び筆記において表現する練習を積み重ねます。さらに、春学期の後半からは、ある程度まとまった文量のドイツ語を初級文法の復習と補足をしながら読み解く練習もします。

*授業の進め方などについては、keio.jpの「授業支援」の「お知らせ」から最新の情報が届くので、そちらに注意しておいてください。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加、授業内課題及び宿題の提出とそれらの達成度、授業内試験により総合的に判断します。

テキスト(教科書):

ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語 ノイ 新倉真矢子・亀ヶ谷昌秀・正木昌子・中野有希子 著 第三書房 2019年 ISBN: 978-4-8086-1190-3

読解テキストはその都度配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

課題が出されたときは、授業までにしっかりと行ってから授業に臨んでください。

質問・相談:

対面授業の前後に随時受け付けています。また大学の授業支援システムの中の授業内メッセージや掲示板でも受け付けます。

ドイツ語 I 上級／ドイツ語 II 上級

ドイツ語 I 上級 1 単位(春学期)

ドイツ語 II 上級 1 単位(秋学期)

ドイツ映画を「読む」ードイツ語聴解力&読解力トレーニング

セット履修

津崎 正行

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、ドイツ映画を何本か取り上げ、その作品と関連するさまざまな種類のテキスト (作品に対する評論や解説、監督や俳優に対するインタビュー、作品中で言及された著作、原作や脚本など) を精読します。それによって、ドイツ語の文章を正確に読む力を養うとともに、ドイツ語で話したり書いたりする際に必要となる表現や語彙も身につけることを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (60%) とレポート (40%) によって、総合的に評価します。なお、平常点とは、いわゆる「出席点」を意味するものではなく、毎回の授業での発言などに対して与えられた点数を合計したものをいいます。

テキスト(教科書):

必要に応じて、プリントを配布します。

参考書:

必要に応じて、授業中に紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業の計画については、受講者の希望や関心、これまでの学習状況なども考慮して、変更する可能性があります。上記の作品のすべてを取り上げることにこだわる必要はありませんし、場合によっては、それ以外の作品を選んでかまいません。希望や提案があれば、いつでも歓迎します。

質問・相談:

かならず自力で解決する努力をしたうえで、それでもなお解決することができなかった疑問点については、授業の前後でも、メールでもかまいませんので、ご都合のよい方法で質問してください。

ドイツ語 I 上級 1 単位(春学期)

ドイツ語 II 上級 1 単位(秋学期)

Deutsch für Fortgeschrittene

セット履修

ブッヘンベルゲル, ステファン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語の実践的な運用能力、異文化コミュニケーション能力、国際社会に通用する専門的知識と幅広い教養、協調的な態度を総合的に修得することができること。ドイツ語の基本的な表現を復習しながら、会話表現をさらに深めることを学習目的とする。ドイツ文化の知識を育てて異文化の意識を深める。昨年勉強したドイツ語から、語彙力を拡大する練習を行いつつ、ビデオ教材なども取り入れながら、自由会話を中心にドイツ語の勉強を進める。目的: 自分のことについて会話できる。

概ね欧州言語共通枠組A2の水準を目安とし、ドイツ語技能検定試験3級やStart Deutsch 2等の受験のための指導を併せ行う。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期: 確認のテストと試験を行う。割合は、試験50%、平常点(レポート、連携) 50%程度とする。講義を4回以上欠席した者は評価の対象としない。

秋学期: プレゼンテーションを行う。割合は、プレゼンテーション70%、平常点(レポート、連携) 30%程度とする。講義を4回以上欠席した者は評価の対象としない。

担当教員から履修者へのコメント:

春学期の授業はオンラインZoomで行われる。Der Unterricht im Frühlingsemester(春学期) wird online via Zoom durchgeführt. クラスの正確なレベルが決定された後、スケジュールはそれに応じて適応される。Zu Beginn des Unterrichts werden die Deutschkenntnisse der Teilnehmenden festgestellt und der Unterricht bei Bedarf entsprechend angepasst.

ドイツ語 I 上級 1 単位(春学期)

ドイツ語 II 上級 1 単位(秋学期)

セット履修

ブリール, リタ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Dieser Kurs richtet sich an Studentinnen und Studenten, die aufgrund längerer Aufenthalte in einem deutschsprachigen Land und/oder nach mehrjährigem Deutschunterricht in der Schule über gute Deutschkenntnisse verfügen. Unterrichtssprache ist Deutsch, kann aber je nach dem Niveau der Teilnehmer auch teilweise zweisprachig durchgeführt werden, um zu gewährleisten, dass der Unterrichtsinhalt auch verstanden wird.

Nach Absprache mit den Studenten werden Texte zu verschiedenen Themenbereichen der deutschen Kultur und Geschichte und/oder literarische Texte ausgewählt. Diese Texte werden gelesen und sowohl mündlich als auch schriftlich erörtert.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Regelmäßige und aktive Teilnahme am Unterricht sowie schriftliche Arbeiten während des Unterrichts und teilweise als Hausaufgabe dienen als Beurteilungsgrundlage.

テキスト(教科書):

Wird im ersten Kurs bekanntgegeben.

担当教員から履修者へのコメント:

Bitte kommen Sie regelmäßig zum Unterricht und nehmen Sie aktiv daran teil. Eigene Vorschläge sind willkommen. Ich freue mich auf gute Zusammenarbeit mit Ihnen.

質問・相談:

Änderungen der Unterrichtsabfolgen und -inhalte sind möglich.

Bringen Sie eigene Vorschläge und Ideen mit! Auf gute Zusammenarbeit!

ドイツ語会話初級 I 1 単位(春学期)

アインス, ヴィーラント

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語初心者のためのコースです。簡単な日常の状況で会話ができる簡単なドイツ語の文型、語彙について学びます。英語と似ていることから英語の文法、語彙の知識を用います。毎回の授業で、正しい発音と聞き取りを身につけます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への積極的な参加度、口頭試験によって評価(グループによる会話)

テキスト(教科書):

授業内に資料を配布。初回の授業で教科書を使用するかどうか話し合い決定。

教科書を使う場合は「シチュエーション改訂版 - ユミと一緒にドイツをを学ぼう!」を使用。

ISBN: 978 - 4 - 255 - 25367 - 1

参考書:

授業には念のため辞書をご用意ください。

担当教員から履修者へのコメント:

このシラバスは他のドイツ語のコースを履修している参加者だけのために書いたものではありません。その理由から上に記載した教科書を使うことが望ましいかと思います。教科書は聞き取り、簡単な会話を習得するためのもので、難しい文法は含まれていません。もし参加者全員が他のドイツ語の授業を履修していて、自由に話すことを練習したいためにこのコースを履修する場合は授業のコースデザインを変える場合もあるので、初回の授業が終わるまでは教科書は買わないでください。

いずれのコースデザインに関しても授業に参加する前に約30分語彙、文法の準備をしておいてください。

時々宿題もありますが、メールかGoogle Classroomより提出をしていただき、コメントをつけてお返しします。

質問・相談:

質問は通常メールで受け付けます。メールアドレスは授業内でお知らせします。

ドイツ語会話初級 II 1 単位(秋学期)

アインス, ヴィーラント

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は既にドイツ語の基礎について勉強した方のコースで、春学期のドイツ語会話初級 I に続くコースです。基本的なドイツ語の文型で会話することを目標とします。簡単な文型、語彙を用い、会話をよりスムーズに進めることを目標としています。このコースは発音と聞き取りに重点をおいています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加の積極性と口頭試験(グループ)によって評価

テキスト(教科書):

授業内に資料を配布。初回の授業で教科書を使用するかどうか話し合い決定。

教科書を使う場合は「シチュエーション改訂版 - ユミと一緒にドイツをを学ぼう!」を使用。(6課以降へ)

ISBN: 978 - 4 - 255 - 25367 - 1

参考書:

念のために辞書をご用意ください。

担当教員から履修者へのコメント:

このシラバスは他のドイツ語のコースを履修している参加者だけのために書いたものではありません。その理由から上に記載した教科書を使うことが望ましいかと思います。教科書は聞き取り、簡単な会話を習得するためのもので、難しい文法は含まれていません。もし参加者全員が他のドイツ語の授業を履修していて、自由に話すことを練習したいためにこのコースを履修する場合は授業のコースデザインを変える場合もあるので、初回の授業が終わるまでは教科書は買わないでください。

いずれのコースデザインに関しても授業に参加する前に約30分語彙、文法の準備をしておいてください。

時々宿題もありますが、メールかGoogle Classroomより提出をしていただき、コメントをつけてお返しします。

質問・相談:

質問は通常メールで受け付けます。メールアドレスは授業内でお知らせします。

フランス語

なぜ英語以外の外国語を学ぶのか

観光旅行からビジネスや学術交流まで、英語が世界の共通語になっているのは紛れもない事実です。それゆえ外国語は英語だけで十分である、と思われるかもしれません。

それでも大学であえて英語以外の外国語を学ぶ、ということにどのような意義があるのでしょうか。少なくとも3つの理由をあげることができます。

まず、実用的な理由があります。「英語は世界の共通語」という言い方は厳密には正しくありません。世界には英語が通じない国と地域がたくさんあります。概ね英語が通じる国や地域であっても、英語を話さない人も存在します。そのような土地に何らかの理由で赴くことになった場合、意思疎通のために現地の言葉、たとえばフランス語の運用が必要になるのは当然のことです。

次に教育的理由があげられます。一つの言語を学ぶことは、一つの世界観、価値観、世界認識の方法、文化を学ぶことです。日本の価値観や文化が世界で唯一のものではありません。英語による世界認識が普遍的なものでもありません。文学部の教育理念の根幹には、価値観や文化の多様性を尊重するという考え方があります。それを実践する最も重要な手段が外国語なのです。

第三に学問的理由があります。文学部では2年次以降、特定の専攻に所属して専門科目を履修します。その際に、世界各国の多種多様な文献資料に直接的に触れるためには当該言語の習得が必須となります。日本語や英語に翻訳されているものもあるかもしれませんが、翻訳を通じた理解に限界があることは言うまでもありません。

なぜフランス語を学ぶのか

「コミュニケーション」の観点から言うと、フランス語は世界における主要な言語の一つです。フランスという国を離れても、フランス語を公的な言語とする国や地域すなわち「フランス語圏」は世界的な広がりを示しています。また、フランス語を公用語とする国際機関は国際連合を筆頭に、万国郵便連合、世界貿易機関、国際労働機関、国際司法裁判所、赤十字国際委員会、国際オリンピック委員会、国際サッカー連盟など、多数あります。

学問的な面では、フランス語で書き残された文化遺産は膨大で、特に文学や哲学、歴史学、美術史などのいわゆる人文学の分野での蓄積には圧倒されます。フランス語を習得し、そのような果てしなく魅力的な世界をぜひ冒険してみてください。

文学部のフランス語の特徴

文学部1年次のフランス語の授業は、「話す」「聞く」「読む」「書く」という4つの能力を総合的に高めるように構想されています。「聞く」ことについては、身近な領域（自分や家族、大学生活、買い物、娯楽、趣味、旅行など）でよく用いられる文や表現を理解できることを目指します。「話す」ことと「書く」ことでは、そのような領域の事柄を簡単な表現で説明できるようになりましょう。そして「読む」ことの目標は、高度な内容をもった様々な種類の長い文章を正確に理解できるレベルです。「読む」ことの目標を相対的に高く設定している点が文学部のフランス語の特徴ですが、これは履修者が将来的に専攻に所属し、学問上の専門的な文献を読みこなす可能性を見越してのことです。

フランス語学習のコツ

外国語の学習は知的な活動であると同時に、あるいはそれ以上に、身体的な実践です。上達のコツは、スポーツや音楽と同じように、基本的な動作を繰り返すことです。教科書に添付されているCDを聞く、文章を声に出して読む、単語の綴りを書く、という作業を何度も繰り返してください。辞書も、電子辞書よりも紙の辞書を引く方が、大きな身体的動作を伴うため記憶の定着が高まると言われています。

また、このような練習を授業中はもちろんのこと、自宅で繰り返し行うことが大切です。テニススクールに通っている人が、スクールの限られた時間だけ練習していたのでは実力は伸びません。ピアノのレッスンを受けている人が、レッスンの間だけしかピアノに触れないとすると、上達は望めないでしょう。フランス語の授業は、90分の授業が週3回、年間で30週ですので、最大でも合計135時間しかありません。たった135時間でできることは限られています。ぜひとも授業以外の時間も有効に利用してください。

フランス語Ⅰ／フランス語Ⅱ

フランス語Ⅰ 1単位(春学期)

フランス語Ⅱ 1単位(秋学期)

フランス語「初級」

井上 櫻子
 芦野 文武
 伊東 イザベル
 上杉 誠
 大嶋 健太郎
 佐藤 太郎
 設楽 聡子
 シュドル, フローレンス容子
 関 幸太郎
 ソヴグラン シルヴァン
 竹中 公二
 西野 絢子
 西部 由里子
 西脇 沙織
 能登 省二
 ブランクール, ヴァンサン
 ベルナル・ミルティル, ロランス
 前島 アンヌ・マリ
 真部 清孝
 森 千夏

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語の初習者向けの授業です。読む、書く、聞く、話すのいわゆる4技能を総合的に身につけることが目標です。

「フランス語Ⅰ」は春学期の授業、「フランス語Ⅱ」は秋学期の授業にあたります。それぞれ週3回ずつ行われます(曜日・時間はクラスによって異なりますので、時間割で確認してください)。3つの授業は時間割の上では(A)(B)(C)の記号で区別されます。この3つを「初級」のコースとして履修します。

日本人教員の担当する(A)(B)は初級文法の習得を目的とした授業です。教科書『アトリエ・フランセ』を通年で使用しますが、ある程度学習が進んできた時点で、プリントを用いて作文や購読の授業も織り交ぜていきます。

フランス語を母語とする教員の担当する(C)は教科書*Interactions 1*を用いて、聞き取り能力や会話力の向上を目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

「フランス語Ⅰ」と「フランス語Ⅱ」は「セット履修」の科目です。成績評価は年度末に1年間の学習成果全体に対して行われます。「フランス語Ⅰ」が終了した時点で春学期の成績が判定されることはありませんし、通知されることもありません。

授業開始前のレヴェルチェックで1~4組在籍の「中級」クラス認定されたみなさんは、Aコマは「中級」(金曜2時限設楽先生)の授業を履修、Bコマ、Cコマは通常の1~4組の授業を履修してください。「中級」クラスは、初級クラスと同じ教科書(『アトリエ・フランセ』)を用いますが、少し早いペースで進めていきます(詳しくは「中級」のシラバスを参照のこと)。逆に言えば、「初級」と同じ内容ですから、フランス語の初歩をすでに学んだ皆さんが「中級」クラスでやっていけるか不安に思うことは決してありません。

テキスト(教科書):

(A)(B): 石上亜紀子ほか『アトリエ・フランセ』、朝日出版社、2018年 ISBN978-4-255-35184-1 C1085

(C): *Interactions 1 Méthode de français* Clé International, ISBN978-2-09-038697-4

参考書:

[文法参考書]

森本英夫、三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』(駿河台出版社)

森本英夫、三野博司『プチット・リュミエール フランス文法参考書』(駿河台出版社)

目黒士門『現代フランス広文典』(白水社)

[独習用文法教材]

数江譲治『フランス語のABC』(白水社)

[文法練習問題]

齊藤昌三『フランス語トレーニング・コース』(白水社)

西村牧夫『解説がくわしいフランス文法問題集』(白水社)

[作文]

山田博志(他)『1からはじめるフランス語作文』(白水社)

藤田裕二(他)『言いたいことが言える 書きたいことが書ける フランス語の作文』(三修社)

[辞書]

『ディコ仏和辞典』(白水社)

『クラウン仏和辞典』(三省堂)

『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)

『プログレッシブ仏和辞典』(小学館)

『ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)

質問・相談:

- ・授業内容に関する質問→各授業の担当者
- ・学事上の問題や生活面の相談→各クラスの担任

フランス語Ⅰ 中級／フランス語Ⅱ 中級

フランス語のカリキュラムには中級コースが準備されています。対象となるのは中学や高校で1~2年程度フランス語を学習した人です。このコースは「中級」の授業(週1コマ)と初習者向けの(B)と(C)の授業(それぞれ週1コマ)で構成されています。

フランス語Ⅰ 中級 1単位(春学期)

フランス語Ⅱ 中級 1単位(秋学期)

フランス語Ⅰ 中級 (セット: フランス語Ⅱ 中級)

セット履修

設楽 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中学や高校などで1~2年程度フランス語の学習経験がある人たちを対象として、初習者向けのクラスよりも早いペースで初級文法の説明を進めていきます。使用する文法教科書は初習者向けのクラスと同じです。それ以外の教材を用いて練習問題や講読もおこなうこともあります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の成績評価方法に準じます。

テキスト(教科書):

初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」で使用する教科書(A)(B)と同じです。

担当教員から履修者へのコメント:

この授業以外に、初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の(B)(C)を履修してください。4月のガイダンス時に、既習者全員を対象としたレヴェルチェックを実施して、各自の所属クラスを決定します。

フランス語Ⅰ 上級／フランス語Ⅱ 上級

フランス語のカリキュラムには上級コースも設けられています。十分なフランス語学習歴のある人を対象とします。このコースは以下の3つの授業で構成されています。

フランス語Ⅰ 上級 1単位(春学期)

フランス語Ⅱ 上級 1単位(秋学期)

セット履修

井上 櫻子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中学・高校で3年以上フランス語を学習した人たちのための授業です。授業開始前にレヴェルチェックを行ない、上級クラス認定が出た人たちを対象とします。実際の授業では、さまざまなジャンルのフランス語の文章を読み、多面的な読解力を養うことを目指します。具体的には、文学作品からの抜粋、思想・哲学系のテキスト、新聞・雑誌記事の抜粋、漫画の文章などを取り上げる予定です。必要に応じて、文法の復習を目的とした練習問題も織り交ぜていくほか、フ

フランス語の書き取り・聞き取り練習も行ないます。一年間でフランス語運用能力をブラッシュアップし、仏検準1, 1級取得をめざせるようにがんばりましょう。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点（出席状況、授業態度、宿題への取り組み方）、レポートを総合して評価します。

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

参考書:

ロワイヤル仏和中辞典（旺文社）、小学館ロベール大辞典

担当教員から履修者へのコメント:

授業には休まず出席し、課せられた課題には必ず取り組むようにしてください。特に仏文和訳が中心となりますので、毎回しっかり予習することが必要となります。質問、提案など、履修者の積極的な発言を期待します。

質問・相談:

メール sakurako@a5.keio.jp で受け付けます。

フランス語 I 上級 1 単位(春学期)

フランス語 II 上級 1 単位(秋学期)

フランス語上級

セット履修 シュドル, フローレンス容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランスの新聞、雑誌記事、ビデオなどから、興味深い題材を選んで教材に用います。生きたフランス語での読み書き、表現力の向上をはかることが目的です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点、課題、期末課題で評価します。

テキスト(教科書):

PDF

担当教員から履修者へのコメント:

質問・相談:

支援システムやメールで質問してください。

フランス語 I 上級 1 単位(春学期)

フランス語 II 上級 1 単位(秋学期)

上級仏作文演習

セット履修 西部 由里子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中学・高校などで3年以上フランス語を学習してきた既習者のための授業で、「フランス語の表現力を総合的に高める」ことを目標としています。

毎回の授業は、単語テスト、語彙力を強化するための問題演習から始めます。その後、漫画やレシピなど日本語で書かれた様々な文章のフランス語訳を考えたり、フランス語でクイズを作るなどの仏訳演習を行い、伝えたい内容を的確に表現するための工夫について考えます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

課題提出状況、授業への取り組み、授業中に行なう試験などから総合的に評価します。

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

毎回予習が必要です。仏和・和仏辞典を用意してください。

質問・相談:

授業内メールなどを通じ、随時受け付けます。

中国語

日本と二千年にも及ぶ交流を持つ中国は、いまや単なる隣国であるにとどまらず、世界への大きな影響力を保持する大国としての様相を現しています。中国は、日本人が慣れ親しんだ欧米的なスタンダードとは異なる、新たなスタンダードの構築を目指しているとも言えるかも知れません。各種メディアで報道される中国の急成長は、ときに感情的な脅威論に傾くこともあります。まだまだ日中両国はお互いのことを十分に理解していないというのが現状です。中国というと反日的なイメージが強調されがちですが、経済ではすでに日中は重要なパートナーとなりつつあります。英語と並んで中国語の研修を必須とする大企業も現れ、今後ますますそうした傾向は強まるでしょう。日中両国の若者が、勇気をもって「相手を知っているつもり」をやめてみると、驚くほど多彩な事柄が見えてくるはずです。中国語の習得は、現代中国の文化的・政治的なコードの存在を実感し、様々な差違を楽しむための大きな一助となり、研究はもとより就職そして実業の世界でも大きな武器となり得ます。その先には、中国のみならず様々な「世界」と向き合う自分なりの姿勢を手に入れる展望も開けてくることでしょう。

中国語は漢字によって表記されます。それは日本人が中国語を学ぶ際の大きな利点です。しかし実は、中国（大陸）では「簡体字」と呼ばれる簡略化された漢字が用いられています。また台湾や香港では「繁体字」と呼ばれる画数の多い漢字が用いられており、いずれもわたしたちが日本語で使う漢字とは異なっています。そしてなにより、中国語の漢字の発音は日本語とは全く異なります。知っているようで、知らないことも多い、という中国語に対する感覚は、まさしく日中両国の間柄とも似通っているようです。

古来、日本は中国の文化から多くを学びました。複雑な歴史的背景のもと、現在は双方向的な関係を結ぶべき時期に来了。飛行機に乗ればわずか3時間程度、容易に往来できるのは隣国の利点です。日中間で多くの企業や留学生が往来し、そして多くの中国の若者は、日本のドラマやアニメなどのポップカルチャーを愛好しています。共有してきた文化を知る喜びと、近くて遠い異質の感覚に触れる楽しみ、その両方の可能性を中国語の学習は皆さんに与えてくれることでしょう。

中国は多民族国家ですが、中国籍を持つ人は14億人にも及びます。これは世界の総人口のおよそ5分の1にあたります。「你好！Nǐhǎo！」（こんにちは！）からはじまる一言ずつが、皆さんにとって世界への窓口を大きく開くスキルになることと思います。

なお、既習者は以下の説明を参照してください。初級と中級、或いは中級と上級のどちらで学べばよいか分からない人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

【中級クラス】

1～2年程度の中国語学習歴がある人が対象です。具体的には、高等学校で中国語を履修した人、中国語検定で4級を取得した人などです。中国語の既習者で、初級と中級のどちらで学べばよいのか分からない人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

【上級クラス】

一般入試で中国語を受験した人、およびこれに準ずる中国語能力のある人が対象です。検定レベルでいうと、中国語検定2級、HSK5級相当以上です。上級レベルでよいかどうかの判断に迷う人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

上級科目のシラバス・時間割については、外国語教育研究センターの「履修案内・講義要綱」に記載されている科目名「中国語表現技法1～4」の内容を確認してください。詳細は語学別ガイダンスで説明いたしますので、外国語教育研究センターの「履修案内・講義要綱」を必ず持参してください。

中国語Ⅰ／中国語Ⅱ 初級

中国語Ⅰ 1単位(春学期)

中国語Ⅱ 1単位(秋学期)

浅野 雅樹
植松 公彦
鶴浦 恵
柴 森
佐高 春音
周 媛
須山 哲治
福田 文彬
松川 育代
松倉 梨恵
容 文育
吉永 壮介
李 晶

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中国語の初学者を対象とする授業です。発音の習得、聴き取り、初級文法と語彙の習得をめざします。授業は統一教材を用いて行い、日本人教員2名とネイティブ教員1名による週3コマで進めます。日本人教員の授業時では、主に文法と基本的な会話を学習し、ネイティブ教員の授業では、聴き取りや発音・会話を重点的に練習します。なお、ネイティブ教員は中国語のみを使って授業をします。

学習の到達目標は以下の通りです。

- ①ピンイン表記(ローマ字による中国語の発音表記)を習得し、それに基づいて正確な発音ができる。
- ②中国語を聴いて正確にピンインと簡体字で書き取ることが出来る。
- ③初級文法を習得し、簡単な会話がスムーズにできる。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

統一試験、各クラスでの試験、発音試験、出席・小テストによる平常点をベースにして、全担当教員による成績会議で決定します。全クラスで行う試験は以下の通りです。

<春学期>

【発音試験】

ネイティブ教員クラス (6月・授業時間内)

【学期末試験】

ネイティブ教員クラス (授業時間内)

日本人教員クラス (授業時間内・聞き取り試験)

全クラス統一試験 (試験期間中・筆記試験)

<秋学期>

【中間試験】

ネイティブ教員クラス (三田祭前・授業時間内)

全クラス統一試験 (三田祭前)

【学期末試験】

ネイティブ教員クラス (授業時間内)

日本人教員クラス (授業時間内・聞き取り試験)

全クラス統一試験 (試験期間中・筆記試験)

テキスト(教科書):

各自、下記を生協を通して購入して、初回の授業に臨んでください。全クラス共通テキスト:

『中国語の並木道 [改訂版]』白帝社 2011年 ISBN: 9784863980440

参考書:

<辞書> ガイダンス時に紹介します。

<参考書> 『中国語の入門 [最新版]』山下輝彦著(白水社)

『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 [新訂版]』

相原茂ほか著(同学社)

担当教員から履修者へのコメント:

出席・平常点を重視します。欠席しないように心がけてください。最初の数週間で集中的に発音練習を行い、その後文法・会話練習に進みます。中国語の発音に慣れるために、繰り返し教科書付属のMP3・CDで練習してください。春学期においては特に復習に力を入れること。

質問・相談:

メールなど、各担当者からの指示に従ってください。

中国語Ⅰ／中国語Ⅱ 中級

中国語Ⅰ中級 1単位(春学期)

中国語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

杉野 元子
松川 育代
劉 渴水

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は初級中国語を1年程度勉強した学生に向けたものです。日本人教員2名は、中国語初級文法の確認と発展、語彙の拡大、読解力の向上を目指す授業を展開します。ネイティブ教員は極力中国語を使って授業を行い、実践的に中国語のリスニングとスピーキングの力を鍛えていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、授業態度、課題・レポート、授業内試験の結果をもとにして判断します。

テキスト(教科書):

開講時に指定。

参考書:

相原茂ほか著『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』(同学社)

担当教員から履修者へのコメント:

遅刻・欠席はしないように心がけてください。

毎回1時間程度の予習・復習を行い授業に臨んでください。

質問・相談:

授業終了後、またはメールで受け付けます。

朝鮮語

朝鮮語Ⅰ 1単位(春学期)

朝鮮語Ⅱ 1単位(秋学期)

韓国語の入門から初級まで

金 柄徹
李 瓊
李 泰文

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

韓国語の入門(文字、発音、あいさつのことば)、基礎(簡単な日常会話)、初級(旅行、買い物、掲示板の理解などに役立つもの)の段階を踏んで学んでいきます。一週間に三回の授業は、講師は代わっても、同一教材を用いて進めます。各課ごとに小テストをし、達成度をはかります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席率、課題、小テストにより評価します。

テキスト(教科書):

金孝珍(北原スマ子監修)『即! 実践 楽しもう韓国語』白帝社、最新版。

ISBN: 978-4-86398-277-2

参考書:

辞書は『朝鮮語辞典』(小学館)、『コスモス朝和辞典』(小学館)など。初年度の前期は辞書を引く練習はしませんが、手元において、頻繁に語法、語義を確認することが大事です。後期以降は必要です。電子辞書を机の上に置いて随時参照するのも可です。

担当教員から履修者へのコメント:

韓国語は日本人にとって、他の外国語よりは取り組みやすい言語だといわれています。しかし、目標をどこに設定するかによって難易度は随分変わってきます。ハングルが何とか読める程度で満足することなく、韓国の社会や文化の中にもひとりで入っていけるという目標を持って学習に取り組んでほしいです。

質問・相談:

随時可能。

朝鮮語既習Ⅰ 1単位(春学期)

韓国語上級

金 柄徹

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

韓国語をすでに学んだことのある人を対象にしています。日常的な場面をテーマに学習することで、状況に応じた表現方法を習得するとともに、韓国人の会話スタイル(より複雑な表現)についても理解を深めていくことを目指します。その他に、映画・新聞・文学作品などを素材に、韓国語だけでなく韓国の文化や社会事情に対する理解も高めていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席率、授業への参加の度合い、課題などで評価します。

テキスト(教科書):

第1回目の授業で配布します。

質問・相談:

随時可能。

朝鮮語既習Ⅱ 1単位(秋学期)

韓国語上級

金 柄徹

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

韓国語をすでに学んだことのある人を対象にしています。日常的な場面をテーマに学習することで、状況に応じた表現方法を習得するとともに、韓国人の会話スタイル(より複雑な表現)についても理解を深めていくことを目指します。その他に、映画・新聞・文学作品などを素材に、韓国語だけでなく韓国の文化や社会事情に対する理解も高めていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席率、授業への参加の度合い、課題などで評価します。

テキスト(教科書):

第1回目の授業で配布します。

質問・相談:

随時可能。

スペイン語

スペイン語Ⅰ 1単位(春学期)

スペイン語Ⅱ 1単位(秋学期)

スペイン語の基礎と発展

坂田 幸子
アイト モレーノ, イサーク
安藤 万奈
大場 樹精
コルメナ ロメロ, ロベルト
ペラル・ヒガンテ, アルバロ
諸星 妙
渡辺 裕木

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期

スペイン語文法の基本を学びつつ、挨拶や自己紹介など、初歩的な日常会話をスムーズに行えるような練習をします。四技能をバランスよく身につけ、簡単な読み書きもできるようにするのが目標です。

秋学期

春学期に引き続いてスペイン語文法を学習し、直説法の時制をすべて学びます(接続法は2年次に学習します)。また、平易なスペイン語テキストの内容を理解できるだけの読解力や、身の回りの出来事や事物について述べることのできるだけの作文能力を身につけることも目標です。

スペイン語圏の国々の文化についても、折に触れて紹介します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験(課題提出、各学期に数回行う小テスト、期末試験)ならびに平常点をベースにして、担当者全員による合議の上で決定します。

テキスト(教科書):

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語』朝日出版社

参考書:

辞書については、最初は電子辞書ではなく、紙媒体のものが望ましいです。以下のものをお勧めします。

『現代スペイン語辞典』(白水社)

『西和中辞典』(小学館)

『クラウン西和辞典』(三省堂)

『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

担当教員から履修者へのコメント:

語学の習得のためには、いわゆる「一夜漬け」ではなく、コンスタントに努力を積み重ねることが大切です。たとえば毎日、予習と復習を30分行なうなど、習慣づけましょう。一年生で基礎を固めたあと、二年生の授業では、スペイン語での簡単なプレゼンテーションや、スペイン語圏の社会・歴史・文化などに関するテキストの読解に挑戦していただきます。

ロシア語

ロシア語Ⅰ 1単位(春学期)

ロシア語Ⅱ 1単位(秋学期)

ロシア語の基礎

越野 剛
中澤 朋子

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

アルファベット、発音から始めて、ロシア語の基本的な文法項目および表現を総合的に学習します。一年間でロシア語の読解力を養成する授業です。ロシア語の構文をしっかりと把握して正しく理解・応用できるようになることを目標とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への積極的な参加(平常点)、課題の提出、小テスト、期末試験などを総合的に評価します。

コロナ感染拡大の状況によっては、試験実施が困難になるなど、成績評価の方法が変更される可能性があります。

テキスト(教科書):

文学部で作成されたオリジナル教材を授業支援サイト経由で配布します。

そのほか、ロシア語やロシア文化を学ぶのみ役立つような資料を適宜用意します。

対面授業とオンライン授業をうまく組み合わせて、ロシア語文法の基礎力を高めていきましょう。

参考書:

『博友社ロシア語辞典』

担当教員から履修者へのコメント:

外国語は暗記しなくてはいけない文法事項が多くてたいへんですが、言葉を習得することで見えてくる世界の広がりや苦労するだけの価値のあるものです。もっと勉強がしたくなるような、ロシア語の世界の魅力が伝わるよう努めます。予習・復習など、授業外での一定の学習時間が必要になることは覚悟してください。

質問・相談:

授業中でも分からないことがあれば積極的に質問してください。授業時間前後にも質問に対応します。

メールでの問い合わせも随時受け付けます。授業支援システムも利用してください。

イタリア語

イタリア語Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語Ⅱ 1単位(秋学期)

イタリア語基礎文法《必修》

藤谷 道夫
長谷川 悠里
古田 耕史
森田 華奈子

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

《春学期: イタリア語Ⅰ》月曜日(長谷川)・火曜日(長谷川・藤谷)
水曜日(森田・古田)

音楽や視覚教材などを併用しながら、初歩的なイタリア語の文法を解説します。レベル的には、イタリア語検定5級程度が習得できるよう指導していきます。また、イタリア語の学習を通して様々なイタリアの文化や考え方を学びます。学生の興味や要望に合わせて、映画、音楽、絵画、食文化等にも積極的に触れて、イタリア語学習をできるだけ楽しいものにしていくつもりです。

《秋学期: イタリア語Ⅱ》

イタリア語Ⅰを受けて、イタリア語文法の初級の残りを解説します。授業の進め方も、イタリア語Ⅰと同じです。折に触れて、イタリアの食生活や日常生活、文化、社会習慣など語学に密接した知識を解説します。レベル的には、イタリア語検定4級程度が習得できるよう指導していきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

【長谷川・藤谷担当の文法の授業】

- ①授業内の小テストの平均点で全体の評価とする。
- ②小テストを受けるために毎回出席する必要がある。

【森田・古田担当の文法の授業】

- ①出席が試験を受ける資格となる。
- ②各学期に中間試験と学期末試験を行ない、①の評価に加えて、全体の評価とする。

テキスト(教科書):

『イタリア語最初歩』(ナンニーニ・アルダ、藤谷道夫著、三修社)を各自購入して下さい。

『イタリア語練習問題集(慶應義塾大学生用)』(無料配布)

参考書:

須賀敦子『ミラノ霧の風景』(白水社)

『伊和中辞典』(小学館)または『ブリーモ伊和辞典』(白水社)

担当教員から履修者へのコメント:

- ①初級文法は毎回新しい内容を解説するため、出席していないと新しい単元の文法が解らなくなってしまう。しかも、授業内で小テストを毎回行なうため、全出席が原則です。
- ②勉強を進める上で興味や関心が何よりも重要です。このため、学生からの積極的な質問を期待しています。
- ③初級文法では、最初、覚えることばかりで大変ですが、できるだけ楽しく・興味深い授業となるよう教員の方も配慮・努力するつもりです。頑張ってください。
- ④火曜日は必修語学の曜日として絶対にアルバイトを入れないようにして下さい。授業が理解できていない学生や病欠などで休んだ学生に対して5限(もしくは5限後)に補習を行なうためです。

質問・相談:

授業中や授業後に質問をして下さい。それ以外で質問や相談がある場合、火曜日の昼の休憩時間または火曜日5限か5限の終わりに研究室531(来住舎)に気軽に来て下さい。また、授業が十分に理解できていない学生は呼び出して、補習をします(藤谷)。

イタリア語Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語Ⅱ 1単位(秋学期)

Ciao!からイタリアへ

セット履修

マッジャ、フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初めてイタリア語を学ぶ学生のための授業です。この授業は、日常生活や旅行など様々なシチュエーションで必要となるコミュニケーション能力を涵養するため、イタリア語での日常会話や語彙を習得することに焦点を当てて進めていきます。授業を通して、イタリア文化の文脈に沿った適切な会話表現の習得、また、言語の裏に潜むイタリアの文化、思考様式についても文化比較を交えながら、知識を深めていくことを目指します。

授業は、教科書に沿って授業を進めます。春学期は、2課(自己紹介、余暇の過ごし方など・動詞の現在)まで、秋学期は4課(日々の生活、バカンスなど・動詞の近過去)まで進める予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席、授業への積極的な参加態度、小テスト、期末試験、課題や提出物などを総合的に鑑みて評価します。

テキスト(教科書):

『Nuovo Progetto Italiano 1』Marin T., Magnelli S. 著

Edilingua出版 2008年

ISBN: 978-960-6632-24-2

担当教員から履修者へのコメント:

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。恥ずかしがらずに、授業に積極的に参加しましょう。間違いを気にせず、話して下さい。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますが、分からなくて聞いても恥でもなんでもありません。いくら間違えても構わないので、どんどん話しましょう。

質問・相談:

- ・授業中はもとより、休憩時間に気軽に何でも質問して下さい。
- ・講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語Ⅱ 1単位(秋学期)

Ciao!からイタリアへ

セット履修

レバリアーティ、ガブリエレ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初めてイタリア語を学ぶ学生のための授業です。この授業は日常生活や旅行など様々なシチュエーションで必要となるコミュニケーション能力を涵養するため、イタリア語での日常会話や語彙を習得することに焦点を当てて進めていきます。授業を通してイタリア文化の文脈に沿った適切な会話表現の習得、また言語の裏に潜むイタリアの文化、思考様式についても文化比較を交えながら、知識を深めていくことを目指します。

授業は、教科書に沿って授業を進めます。春学期は、2課(自己紹介、余暇の過ごし方など・動詞の現在)まで、秋学期は4課(日々の生活、バカンスなど・動詞の近過去)まで進める予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席、授業への積極的な参加態度、小テスト、期末試験、課題や提出物などを総合的に鑑みて評価します。

テキスト(教科書):

『Nuovo Progetto Italiano 1』Marin T., Magnelli S. 著、Edilingua出版、2008年 ISBN: 978-960-6632-24-2

担当教員から履修者へのコメント:

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。恥ずかしがらずに、授業に積極的に参加しましょう。間違いを気にせず、話して下さい。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますが、解らなくて聞いても恥でもなんでもありません。いくら間違えても構わないので、どんどん話しましょう。

質問・相談:

- ・授業中はもとより、休憩時間に気軽に何でも質問して下さい。
- ・講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語入門Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語へようこそ！

マッジャ, フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

実践的なコミュニケーションアプローチを通じて、各会話と文法は同じ内容の相互補充形式です。

「日常生活」「旅行」「文化」などの話題に必要なボキャブラリーや表現を増やしなが、コミュニケーション能力をつけることを目指します。具体的には、様々なシチュエーションで使える会話表現を習得し、自分のことを自分の言葉で話せるようになることを目標とします。

ビデオ(スキットと文化紹介の映像)、スライドショーなどのマルチメディアを使用して楽しく日常イタリア語を学び、イタリアの文化について知識を深めます。

教科書に沿って授業を進めます。春学期は、3課まで、秋学期は6課まで進む予定です。

この授業はイタリア語を初めて学ぶ学生を対象としていますが、イタリアで生活した経験がある学生、イタリアへの留学を考えてすでにいくらか学習した学生も歓迎します。それぞれの希望に合わせて個別に対応します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業参加、小テスト、期末試験。

テキスト(教科書):

『OPERA PRIMA - Volume 1』 Maggia, Miscio, Quaglieri, Spinuso, Zamborlin著

Casa Editrice Asahi 2012年

ISBN: 978-4-255-55308-5

担当教員から履修者へのコメント:

学生からの声

会話中心の授業なので文法の授業で習ったことを実際に試すことができて自分のイタリア語をブラッシュアップできてよかった。(FUMIYA, 1年)

基本少人数で、自分から積極的に発言しやすい雰囲気があり、受講者みんなが授業に参加できていたと思います。そして基礎的なことから、ちょっとした応用、イタリアのマナーや文化など、実際にイタリア語を使う際に役立つような知識がかなり得られたと思います。楽しかったです。(TSUKANE, 1年)

イタリア語について全く予備知識なしで履修しましたが、先生が優しく、かつ丁寧に教えてくださるので、とても楽しく勉強できます。一度社会に出ると、こうした質の高い語学の授業を受けることはそう簡単にはできないと思います。少しでも興味があればぜひ履修することをおすすめします。(KOSEI, 4年)

イタリアを旅行したいと思い、この授業を取りました。文法を学びながら、日常会話の練習も重点的にできるので、特に実際にイタリアに行きたい人におすすめしたいです。また、イタリアの文化についても学ぶことができ、とても楽しい授業です。(NOZOMI, 2年)

少人数の授業であるため、1人1人丁寧に指導していただけます。先生はとても明るく優しい方で、いつも楽しくイタリア語を学べます。教科書に載っているイタリアで有名なカフェに同じクラスの友達と行ったこともあります！イタリアに少しでも興味のある方はぜひ授業をとってみてください！(SAE, 2年)

この授業では、基本的にイタリア語の会話などを中心に学ぶことができます。文学部設置の授業ですが、他学部の人でも履修することができます(僕は経済学部です)。また、僕はイタリア語を今まで全く勉強したことがなかったのですが、先生がとても親切に教えてくれたおかげで、イタリア語を楽しく一から学ぶことができました。また、少人数授業ということもあり、僕が個人的に受験したかったCILSというイタリア主催のイタリア語の試験対策を授業でももらいました。そして、4月から勉強を初めて、12月にCILS A1(CEFR A1)を受験しました！イタリアに少しでも興味があったら、履修するのいいと思います。(SHUN, 2年)

先生はいつも優しく1人1人のレベルに合わせて丁寧に指導してくださり、クラスメイトも明るく楽しかったので私はこの授業が大好きでした！楽しみながらイタリア語の力をしっかり伸ばせましたし、CILSという国際的なイタリア語の資格の勉強もできて充実した一年でした！(KANA, 2年)

私はこの春からイタリア語を学び始めました。それまでイタリア語に関する知識は全くなく、授業以外でイタリア語を勉強することもあまりありませんでしたが、話すことを中心としたこの授業のおかげで基本的な会話を交わすことができるようになりました。また、教科書には載っていない文法知識についてもプリントや授業で説明してもらえるので、体系だった文法の学習も可能です。そして何より明るく生徒思いな先生のおかげで、授業の自由度が高く、生徒の要望に合った学習を行えるので、楽しくイタリア語を学習できます！是非履修してみてください！(YUTO, 2年)

質問・相談:

- ・ 授業時間の折に担当教員になんでも質問してください。
- ・ 講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語入門Ⅱ 1単位(秋学期)

イタリア語へようこそ！

マッジャ, フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

「イタリア語入門Ⅰ」の続きです。

実践的なコミュニケーションアプローチを通じて、各会話と文法は同じ内容の相互補充形式です。

「日常生活」「旅行」「文化」などの話題に必要なボキャブラリーや表現を増やしなが、コミュニケーション能力をつけることを目指します。具体的には、様々なシチュエーションで使える会話表現を習得し、自分のことを自分の言葉で話せるようになることを目標とします。

ビデオ(スキットと文化紹介の映像)、スライドショーなどのマルチメディアを使用して楽しく日常イタリア語を学び、イタリアの文化について知識を深めます。

教科書に沿って授業を進めます。春学期は、3課まで、秋学期は6課まで進む予定です。

この授業はイタリア語を初めて学ぶ学生を対象としていますが、イタリアで生活した経験がある学生、イタリアへの留学を考えてすでにいくらか学習した学生も歓迎します。それぞれの希望に合わせて個別に対応します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業参加、小テスト、期末試験。

テキスト(教科書):

『OPERA PRIMA - Volume 1』 Maggia, Miscio, Quaglieri, Spinuso, Zamborlin著

Casa Editrice Asahi 2012年

ISBN: 978-4-255-55308-5

担当教員から履修者へのコメント:

学生からの声

会話中心の授業なので文法の授業で習ったことを実際に試すことができて自分のイタリア語をブラッシュアップできてよかった。(FUMIYA, 1年)

基本少人数で、自分から積極的に発言しやすい雰囲気があり、受講者みんなが授業に参加できていたと思います。そして基礎的なことから、ちょっとした応用、イタリアのマナーや文化など、実際にイタリア語を使う際に役立つような知識がかなり得られたと思います。楽しかったです。(TSUKANE, 1年)

イタリア語について全く予備知識なしで履修しましたが、先生が優しく、かつ丁寧に教えてくださるので、とても楽しく勉強できます。一度社会に出ると、こうした質の高い語学の授業を受けることはそう簡単にはできないと思います。少しでも興味があればぜひ履修することをおすすめします。(KOSEI, 4年)

イタリアを旅行したいと思い、この授業を取りました。文法を学びながら、日常会話の練習も重点的にできるので、特に実際にイタリ

アに行きたい人におすすめしたいです。また、イタリアの文化についても学ぶことができて、とても楽しい授業です。(NOZOMI, 2年)

少人数の授業であるため、1人1人丁寧にご指導していただけます。先生はとても明るく優しい方で、いつも楽しくイタリア語を学べます。教科書に載っているイタリアで有名なカフェに同じクラスの友達と行ったこともあります！イタリアに少しでも興味のある方はぜひ授業をとってみてください！(SAE, 2年)

この授業では、基本的にイタリア語の会話などを中心に学ぶことができます。文学部設置の授業ですが、他学部の人でも履修することができます(僕は経済学部です)。また、僕はイタリア語を今まで全く勉強したことがなかったのですが、先生がとても親切に教えてくれたおかげで、イタリア語を楽しく一から学ぶことができました。また、少人数授業ということもあり、僕が個人的に受験したかったCILSというイタリア主催のイタリア語の試験対策を授業でももらいました。そして、4月から勉強を初めて、12月にCILS A1(CEFR A1)を受験しました！イタリアに少しでも興味があったら、履修するといいと思います。(SHUN, 2年)

先生はいつも優しく1人1人のレベルに合わせて丁寧に指導してくださり、クラスメイトも明るく楽しかったので私はこの授業が大好きでした！楽しみながらイタリア語の力をしっかり伸ばせましたし、CILSという国際的なイタリア語の資格の勉強もできて充実した一年でした！(KANA, 2年)

私はこの春からイタリア語を学び始めました。それまでイタリア語に関する知識は全くなく、授業以外でイタリア語を勉強することもありませんでしたが、話すことを中心としたこの授業のおかげで基本的な会話を交わすことができるようになりました。また、教科書には載ってない文法知識についてもプリントや授業で説明してもらえるので、体系だった文法の学習も可能です。そして何より明るく生徒思いな先生のおかげで、授業の自由度が高く、生徒の要望に合った学習を行えるので、楽しくイタリア語を学習できます！是非履修してみてください！(YUTO, 2年)

質問・相談:

- ・授業時間の折に担当教員になんでも質問してください。
- ・講義の前後に随時受け付けます。

ギリシア語

古典ギリシア語初級Ⅰ 1単位(春学期)

古典ギリシア語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

古代ギリシアの文化は、現代にいたるまで西欧文化に大きな影響を与えています。古典ギリシア語は、古代ギリシアの文学・歴史・哲学などの文献を原典で読むために不可欠だけでなく、その後のヨーロッパ文化を学ぶ上でも基本となる言語の一つです。この授業ではギリシア文字の読み方からやや難しい文法事項まで、古典ギリシア語の初級文法を練習問題を解きながら、少しずつ学んでいきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加度（出席・予習・発表）と小テストにより評価する予定です。

テキスト(教科書):

『古典ギリシア語初歩』 水谷智洋著 岩波書店 1990年 ISBN: 978-4000008297

その他必要に応じてプリント配布

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談:

授業中・授業後に随時受け付けます。

古典ギリシア語初級Ⅱ 1単位(秋学期)

古典ギリシア語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

古代ギリシアの文化は、現代にいたるまで西欧文化に大きな影響を与えています。古典ギリシア語は、古代ギリシアの文学・歴史・哲学などの文献を原典で読むために不可欠だけでなく、その後のヨーロッパ文化を学ぶ上でも基本となる言語の一つです。今学期も引き続き、古典ギリシア語の初級文法を練習問題を解きながら、少しずつ学んでいきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加度（出席・予習・発表）と小テストにより評価する予定です。

テキスト(教科書):

『古典ギリシア語初歩』 水谷智洋著 岩波書店 1990年 ISBN: 978-4000008297

その他必要に応じてプリント配布

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談:

授業中・授業後に随時受け付けます。

ラテン語

ラテン語初級Ⅰ 1単位(春学期)

古典ラテン語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ラテン語は、欧米の学芸に大きな影響を与えた古代ローマの文化を学ぶうえで不可欠だけでなく、イタリア語やフランス語、スペイン語などロマンス諸語の祖であり、中世以降もローマ教会の共通語、さらには学術語としてヨーロッパで重要な地位を占めて来ました。この授業では、古代ローマの書き言葉であった古典ラテン語の初級文法を、練習問題を解きながら少しずつ学んでいきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加度（出席・予習・発表）と小テストにより評価する予定です。

テキスト(教科書):

『標準ラテン文法』 中山恒夫著 白水社 1987年 ISBN: 978-4560017616

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談:

授業中・授業後に随時。

ラテン語初級Ⅱ 1単位(秋学期)

古典ラテン語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ラテン語は、欧米の学芸に大きな影響を与えた古代ローマの文化を学ぶうえで不可欠だけでなく、イタリア語やフランス語、スペイン語などロマンス諸語の祖であり、中世以降もローマ教会の共通語、さらには学術語としてヨーロッパで重要な地位を占めて来ました。今学期も引き続き、古代ローマの書き言葉であった古典ラテン語の初級文法を、練習問題を解きながら少しずつ学んでいきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加度（出席・予習・発表）と小テストにより評価する予定です。

テキスト(教科書):

『標準ラテン文法』 中山恒夫著 白水社 1987年 ISBN:
978-4560017616

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談:

授業中・授業後に随時。



Keio University Hiyoshi campus

文学部 人文社会学科 1 学年 組
学籍番号
氏 名

慶應義塾大学（日吉） 2021 年度